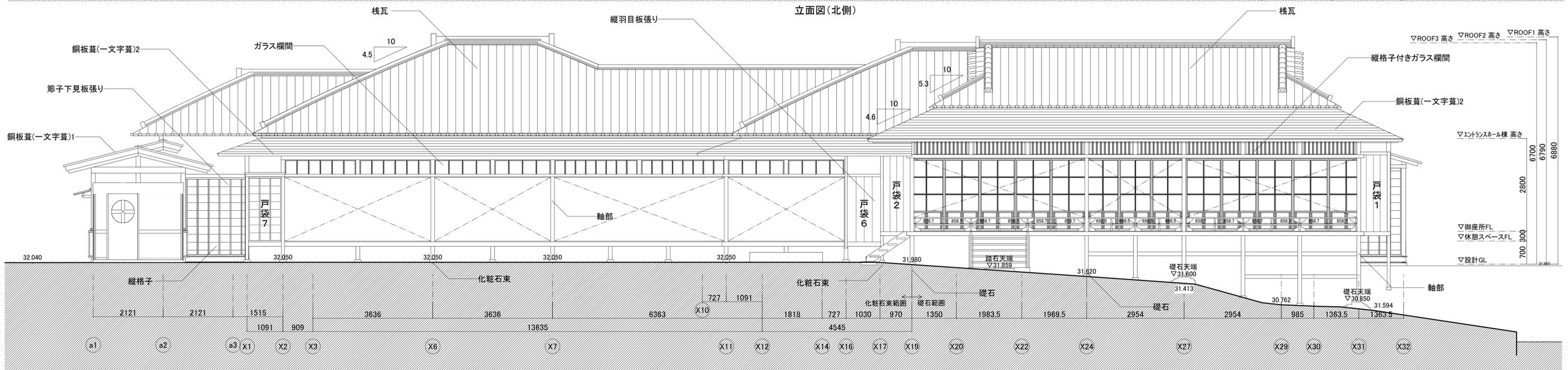


立面図(北側)

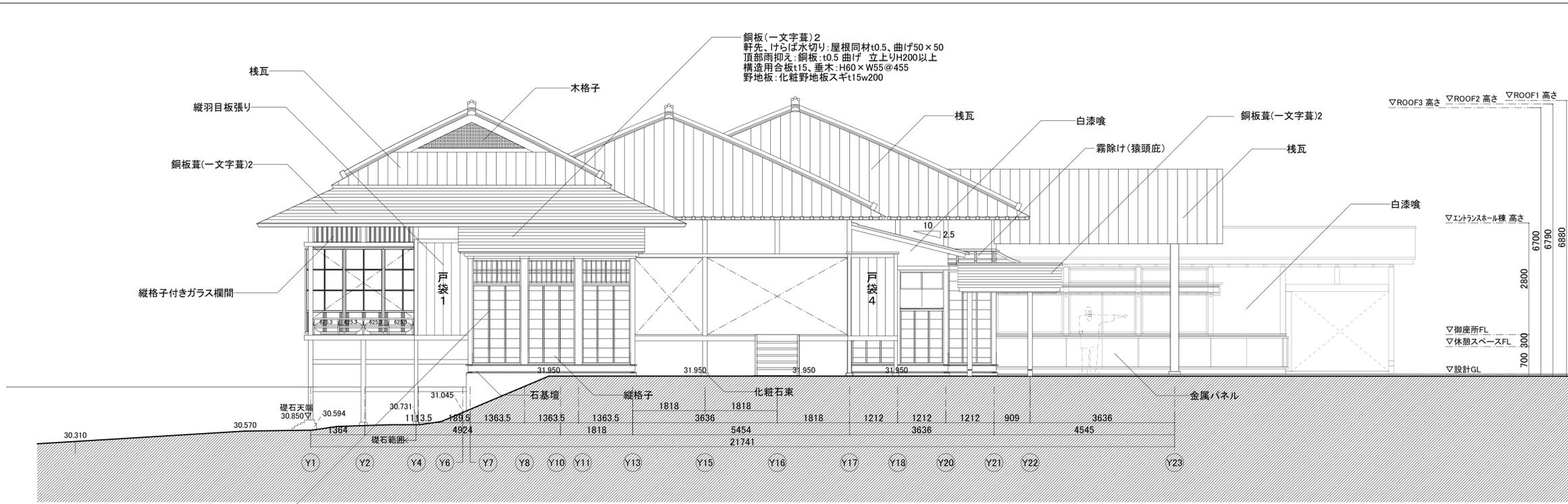


立面図(南側)

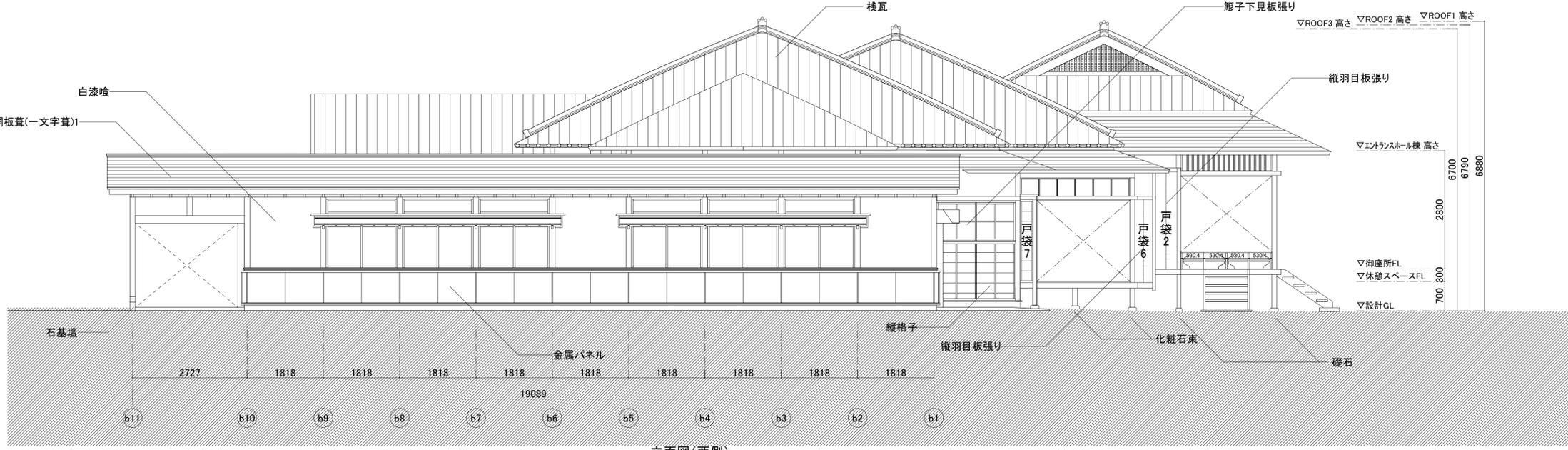
外部仕上げ表

部位	略称	仕上及び下地構成(特記なき限り以下とする)
屋根	棧瓦	いぶし瓦(既製品JIS64)、瓦棧H18 W24@215(通気スリットW30入り@90、瓦用防水モルタル、改質アスファルトルーフィング、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5※むくり加工、断熱材t60(フェノールフォーム 1種、固定金物)
屋根	銅板(一文字葺)1	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、耐水合板t12、合板t12、化粧野地板ヒノキt15、化粧垂木スギ45×90@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)
下屋	銅板(一文字葺)2	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5、土居桁120×120斜め加工、化粧垂木60×45@454.5、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)
谷樋	銅板	銅板t0.4(酸化緑青処理)、アスファルトルーフィング940+ゴムアスファルトルーフィング、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、化粧垂木60×45@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)、W450,H150
軒天井	屋根裏天井	化粧軒天:スギt9(※相作り)、化粧垂木:スギ60×45@454.5、小舞:スギH21W24@200程度
小庇	霧除け(七五庇)	庇板:ヒノキt24、さるがしら:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、出桁:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、腕木:ヒノキ60×80(面取加工)、雨押:ヒノキt20×90、面戸木:ヒノキt35×80、板掛け:ヒノキt35×80、破風板:ヒノキt30、絵振り板ヒノキt30
外壁中央	庇子下見板張り	上下桟:スギH40×D40、側桟:スギW30×D40、庇子押縁:スギW30×D15~33、下見板:スギt7 H242(通材)、横胴縁t10×W30 通気スリットW30@300、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、ガラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5
外壁中央	縦羽目板張り	スギt18、胴縁18×30、アスファルトルーフィング、構造用合板t12、間柱90×45@303+断熱材t90
外壁下	金属パネル	アルミダイキャストt5(断熱材裏打t30)支持金物一式、アスファルトルーフィング、構造用合板t12(耐水)、間柱90×45@303+ガラスウール(K24)t45
外壁上	白漆喰	本漆喰t10(下塗り、中塗り含む)、ラスカットボードt9、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、ガラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5
外壁下部	縦格子	上下桟:ヒノキt40H25※下桟に水抜穴、縦桟:ヒノキW30D40、縦格子:ヒノキW27D30@90、幕板:ヒノキt6、防虫網:SUS5メッシュ黒色塗装(換気口部分のみ)
柱、桁、梁、貫	軸部	木材保護塗料(無色)
基壇	石基壇	花崗岩(真壁石、水磨)W90×H150×L909、面取15
独立基礎	化粧石束	花崗岩(御影石、水磨)t30接着工法、鉄筋コンクリートH200W250D250、
独立基礎	礎石	花崗岩(御影石、自然形状)300×300×300程度 ※ホゾ穴加工、RC基礎と一体化、柱底面は光付け、高さ調整用鉛板t2×4枚程度

<p>共通事項:</p> <p>1) 全ての外部露出木部には、木材保護塗料(無色)2回塗りとする。</p> <p>2) 特記なき限り、造作用の化粧材は、上小節以上とする。</p> <p>4) 見え係となる全ての長押と柱(吊柱含む)の交差部には、長押釘隠しを設置すること。</p> <p>5) 見え係となる全ての土台と柱の交差部には、土台釘隠しを設置すること。</p>	<p>※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。</p> <p>※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。</p> <p>※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。</p> <p>※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。</p>	<p>香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER</p> <p>一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)</p> <p>一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 主任技術者 松本洋平(一級建築士第367870号)</p>	<p>令和7年度新宿御苑日本館御殿工事</p> <p>立面図(1) 北側、南側 A1: S=1/60 A3: S=1/120</p> <p>環境省新宿御苑管理事務所</p>	<p>A-19</p> <p>19</p> <p>164</p>
---	---	---	--	----------------------------------



立面図(東側)



立面図(西側)

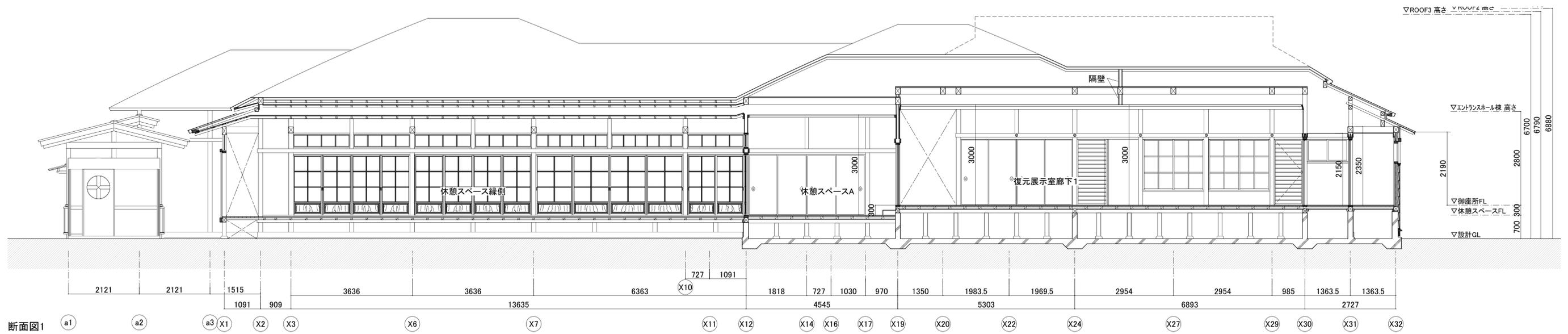
仕上及び下地構成(特記なき限り以下とする)		
部位	略称	
屋根	檼瓦	いぶし瓦(既製品JIS64)、瓦棧H18 W24@215(通気スリットW30入り@90、瓦用防水モルタル、改質アスファルトルーフィング、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5※むくり加工、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)
屋根	銅板(一文字葺)1	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、耐水合板t12、合板t12、化粧野地板ヒノキt15、化粧垂木スギ45×90@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)
下屋	銅板(一文字葺)2	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5、土居桁120×120斜め加工、化粧垂木60×45@454.5、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)
谷樋	銅板	銅板t0.4(酸化緑青処理)、アスファルトルーフィング940+ゴムアスファルトルーフィング、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、化粧垂木60×45@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)、W450,H150
軒天井	屋根裏天井	化粧軒天:スギt9(※相作り)、化粧垂木:スギ60×45@454.5、小舞:スギH21W24@200程度
小庇	霧除け(七五庇)	底板:ヒノキt24、さるがしら:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、出桁:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、腕木:ヒノキ60×80(面取加工)、雨押:ヒノキt20×90、面戸木:ヒノキt35×80、板掛け:ヒノキt35×80、破風板:ヒノキt30、絵振り板ヒノキt30
外壁中央	縁下見板張り	上下桟:スギH40×D40、側桟:スギW30×D40、縁子押縁:スギW30×D15~33、下見板:スギt7 H242(通材)、横胴縁t10×W30 通気スリットW30@300、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、ガラスウール(k24)t90、間柱45×90@454.5
外壁中央	縦羽目板張り	スギt18、胴縁18×30、アスファルトルーフィング、構造用合板t12、間柱90×45@303+断熱材t90
外壁下	金属パネル	アルミダイキャストt5(断熱材裏打t30)支持金物一式、アスファルトルーフィング、構造用合板t12(耐水)、間柱90×45@303+ガラスウール(K24)t45
外壁上	白漆喰	本漆喰t10(下塗り、中塗り含む)、ラスカットボードt9、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、ガラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5
外壁下部	縦格子	上下棧:ヒノキt40H25※下棧に水抜穴、縦桟:ヒノキW30D40、縦格子:ヒノキW27D30@90、幕板:ヒノキt6、防虫網:SUS5メッシュ黒色塗装(換気口部分のみ)
柱、桁、梁、貫	軸部	木材保護塗料(無色)
基礎	石基礎	花崗岩(真壁石、水磨)W90×H150×L909、面取15
独立基礎	化粧石束	花崗岩(御影石、水磨)t30接着工法、鉄筋コンクリートH200W250D250、
独立基礎	礎石	花崗岩(御影石、自然形状)300×300×300程度 ※ホゾ穴加工、RC基礎と一体化、柱底面は光付け、高さ調整用鉛板t2×4枚程度

共通事項:  
 1) 全ての外部露出木部には、木材保護塗料(無色)2回塗りとする。  
 2) 特記なき限り、造作用の化粧木材は、上小節以上とする。  
 3) 見え係となる全ての長押と柱(吊柱含む)の交差部には、長押釘隠しを設置すること。  
 4) 見え係となる全ての土台と柱の交差部には、土台釘隠しを設置すること。

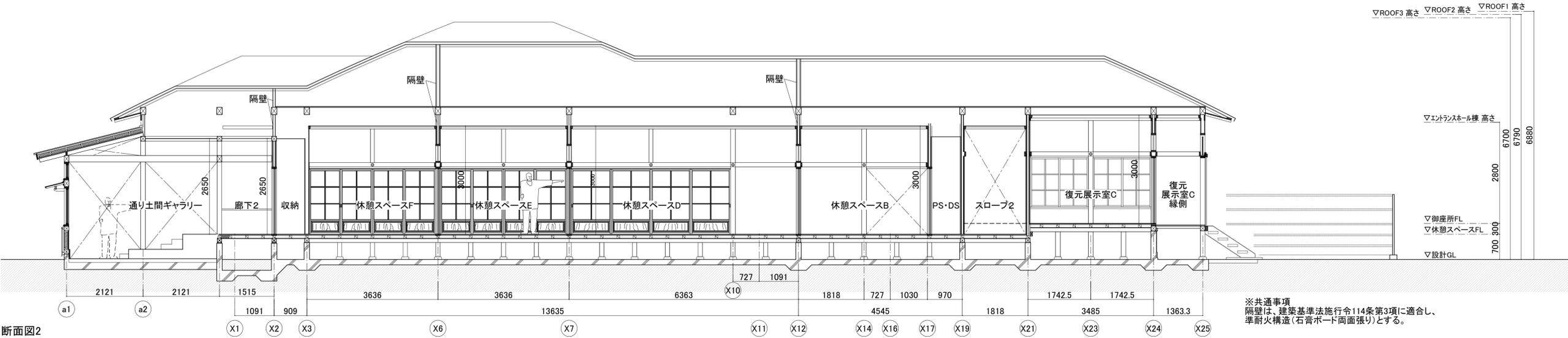
※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は根目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

香山建築研究所  
 KOHYAMA ATELIER  
 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F  
 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)  
 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F  
 主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事  
 立面図(2) 東側、西側 A1: S=1/60 A3: S=1/120  
 環境省新宿御苑管理事務所  
 A-20  
 20  
 164

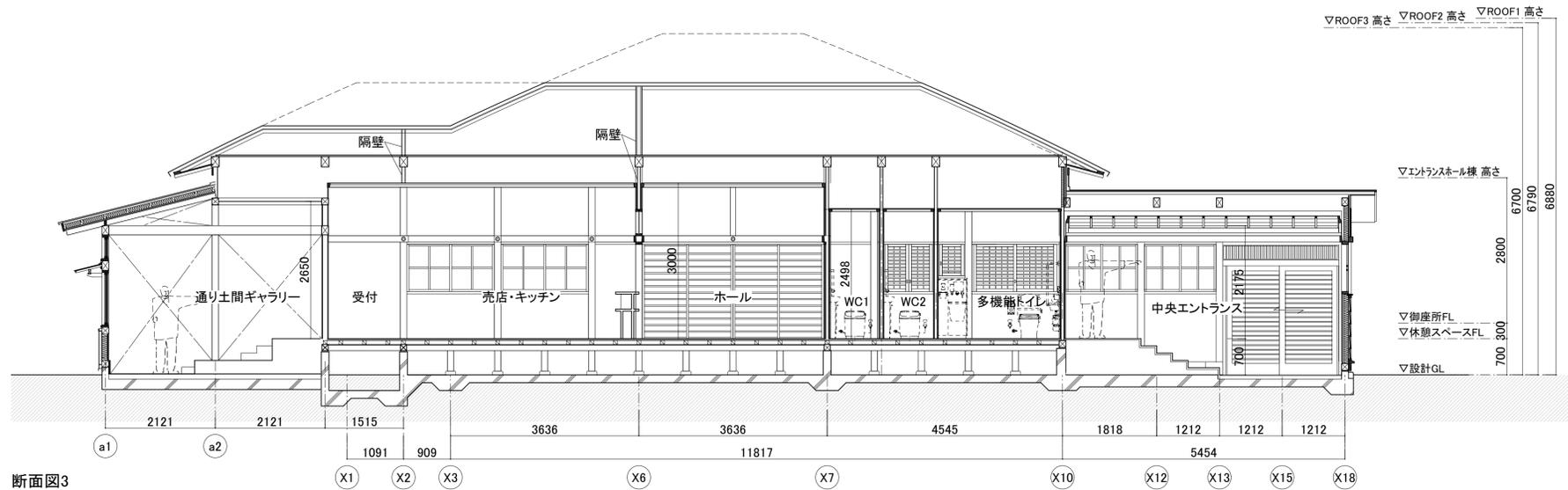


断面図1

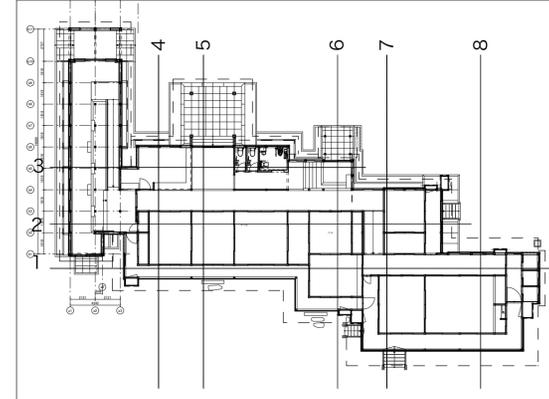


断面図2

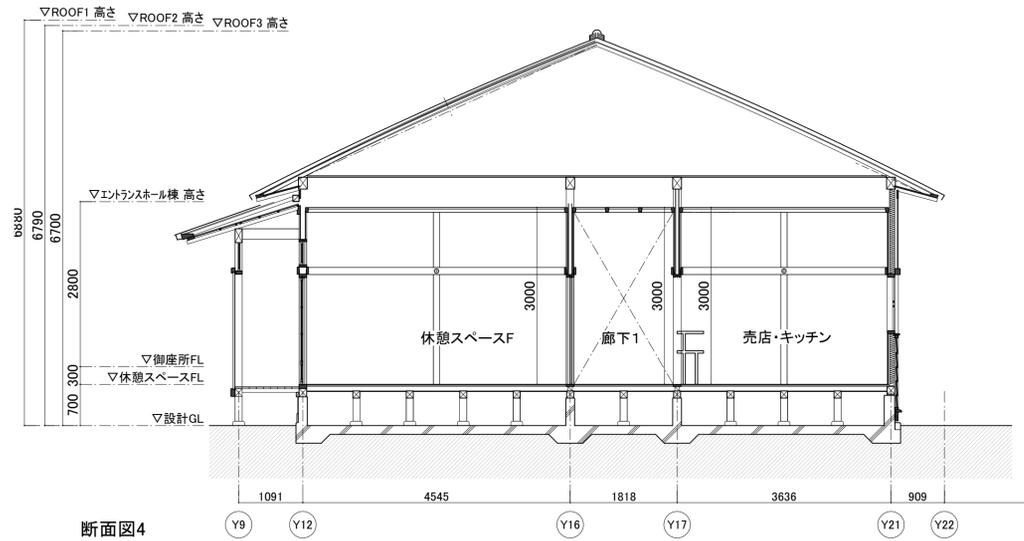
※共通事項  
 隔壁は、建築基準法施行令114条第3項に適合し、  
 準耐火構造(石膏ボード両面張り)とする。



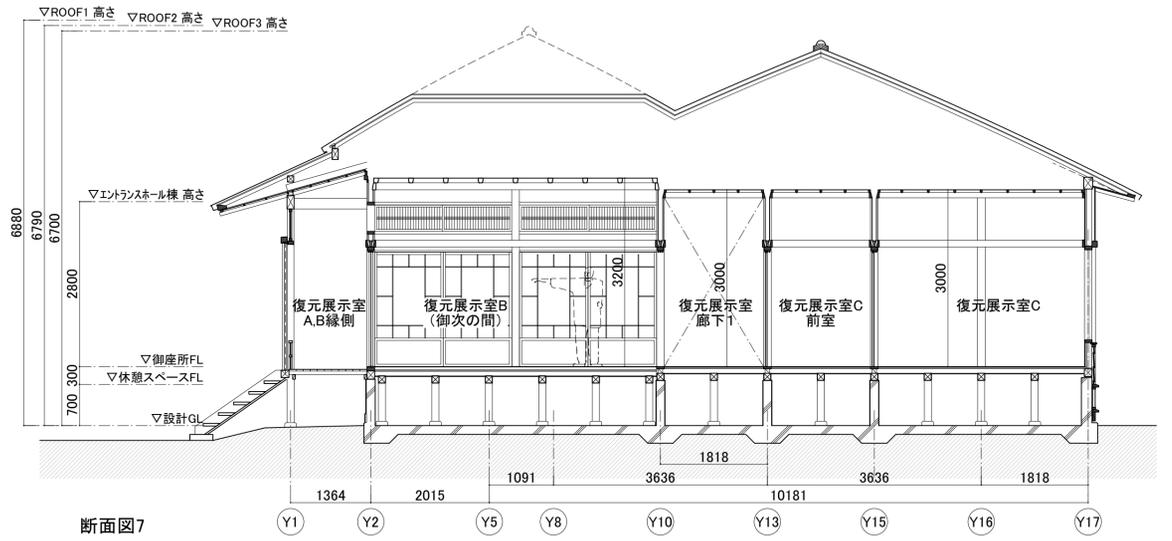
断面図3



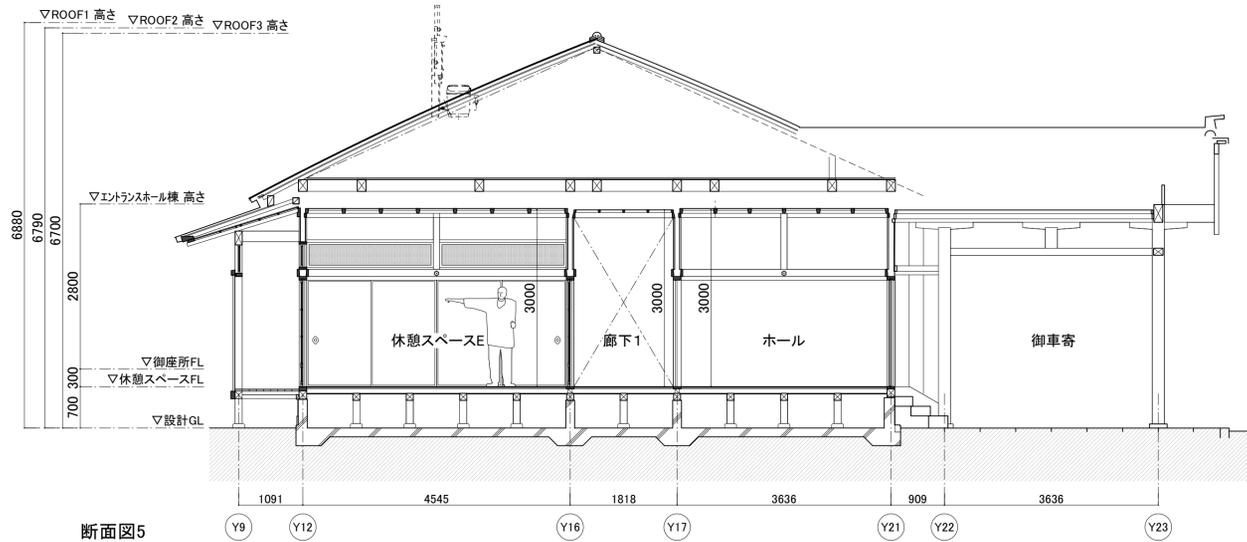
※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛け面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。



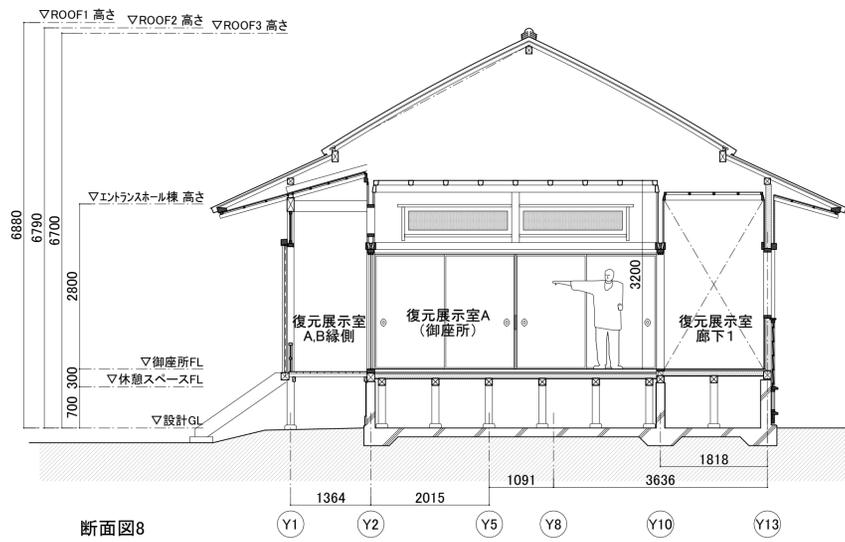
断面図4



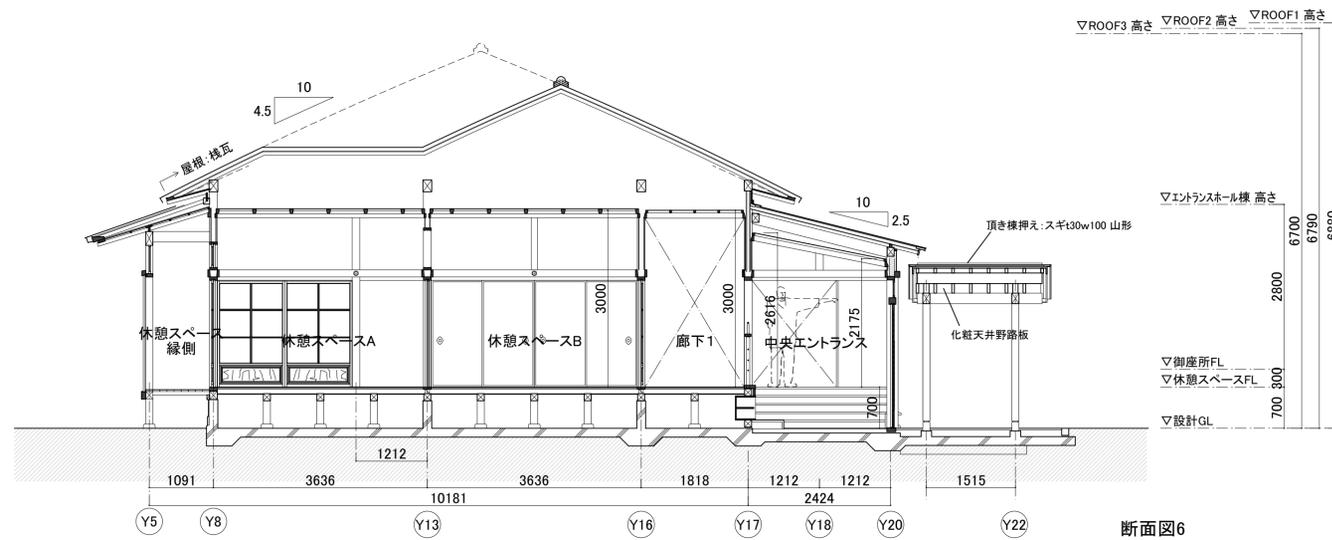
断面図7



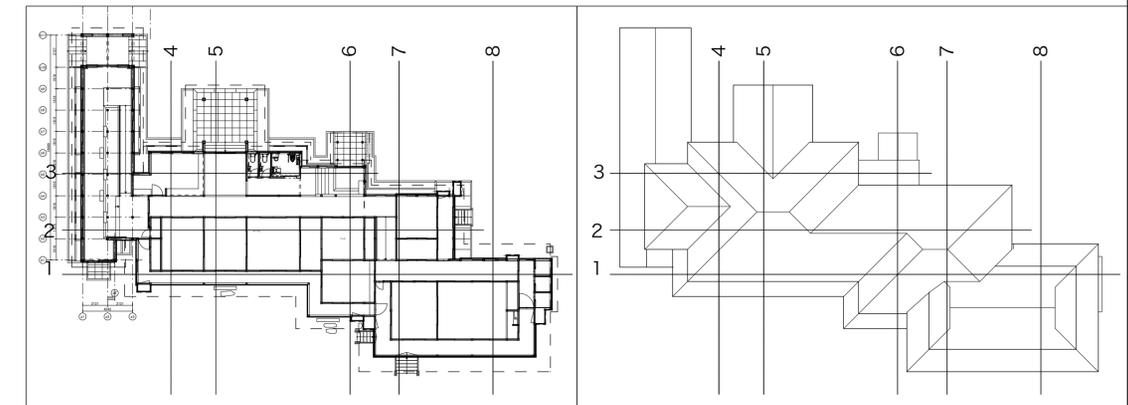
断面図5



断面図8

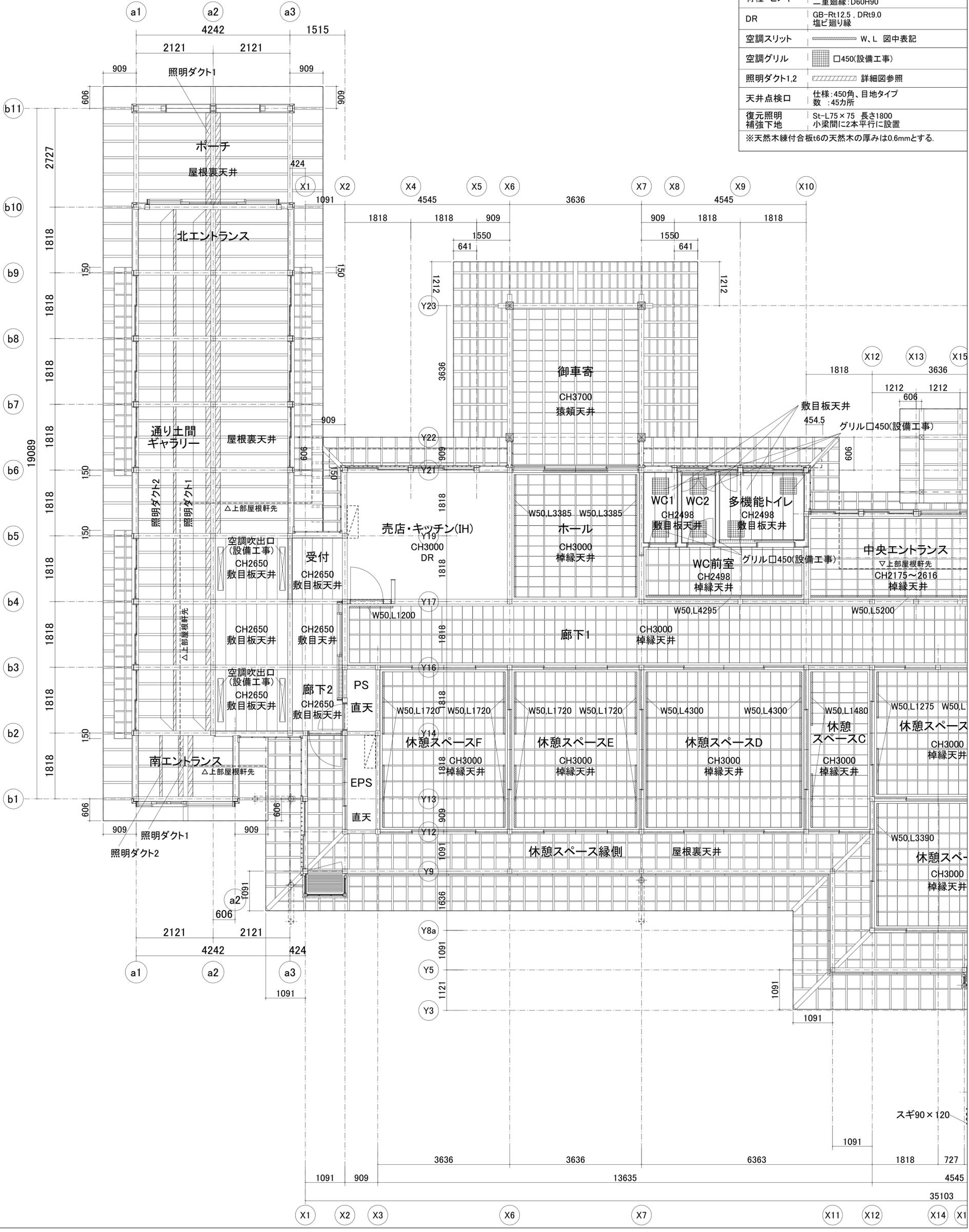


断面図6



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

凡例	
平格天井 材種 ヒノキ	格縁:W80H80@600程度(縦横共) 鏡板:t9(市松張り) 600角(300×600-2枚幅はぎ) 天井廻縁:W60H120
猿類天井 材種 スギ	猿類:W60H80 榎子天井:スギ柱目t7 天井廻縁:D60H90
棹縁天井 材種 スギ	棹縁:W36H40 榎子天井:スギ柱目t7 天井廻縁:D60H90
屋根裏天井 材種 スギ	矩形図参照
敷目板天井 材種 スギ	敷目板:GB-Rt12.5 天然木縁付合板t6 目透かしW3@300程度 目地底テープ貼り 天井廻縁:D60H45
一枚板鏡天井 材種 ヒノキ	天井板:t9 天井廻縁:D60H60 二重廻縁:D60H90
DR	GB-Rt12.5, DRt9.0 塩ビ廻り縁
空調スリット	W, L 図中表記
空調グリル	□450(設備工事)
照明ダクト1,2	詳細図参照
天井点接口	仕様:450角、目地タイプ 数:45カ所
復元照明 補強下地	St-L75×75 長さ1800 小梁間に2本平行に設置
※天然木縁付合板t6の天然木の厚みは0.6mmとする。	



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上、ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上、ただし、抜節・死節は無しとする。  
※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに若干のバラつきが生じることがあること。

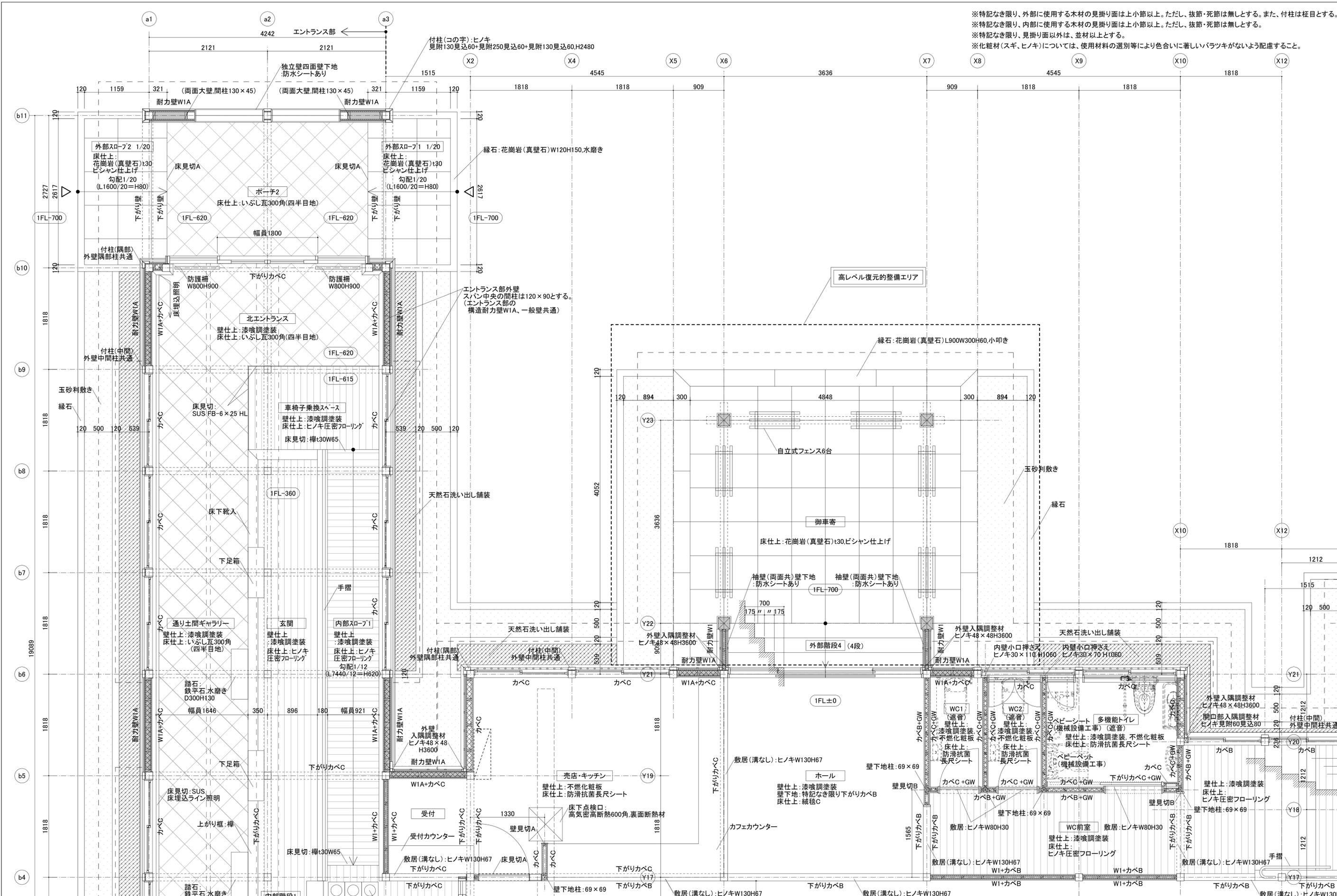
香山建築研究所  
KOHYAMA ARCHITECTURE  
一級建築士事務所 東京都港区新橋1-12-1007 本館5F  
一級建築士事務所 東京都港区新橋1-12-1007 本館5F  
一級建築士事務所 東京都港区新橋1-12-1007 本館5F  
一級建築士事務所 東京都港区新橋1-12-1007 本館5F  
一級建築士事務所 東京都港区新橋1-12-1007 本館5F

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事  
天井伏図(1)  
A1 : S=1/50  
A3 : S=1/100

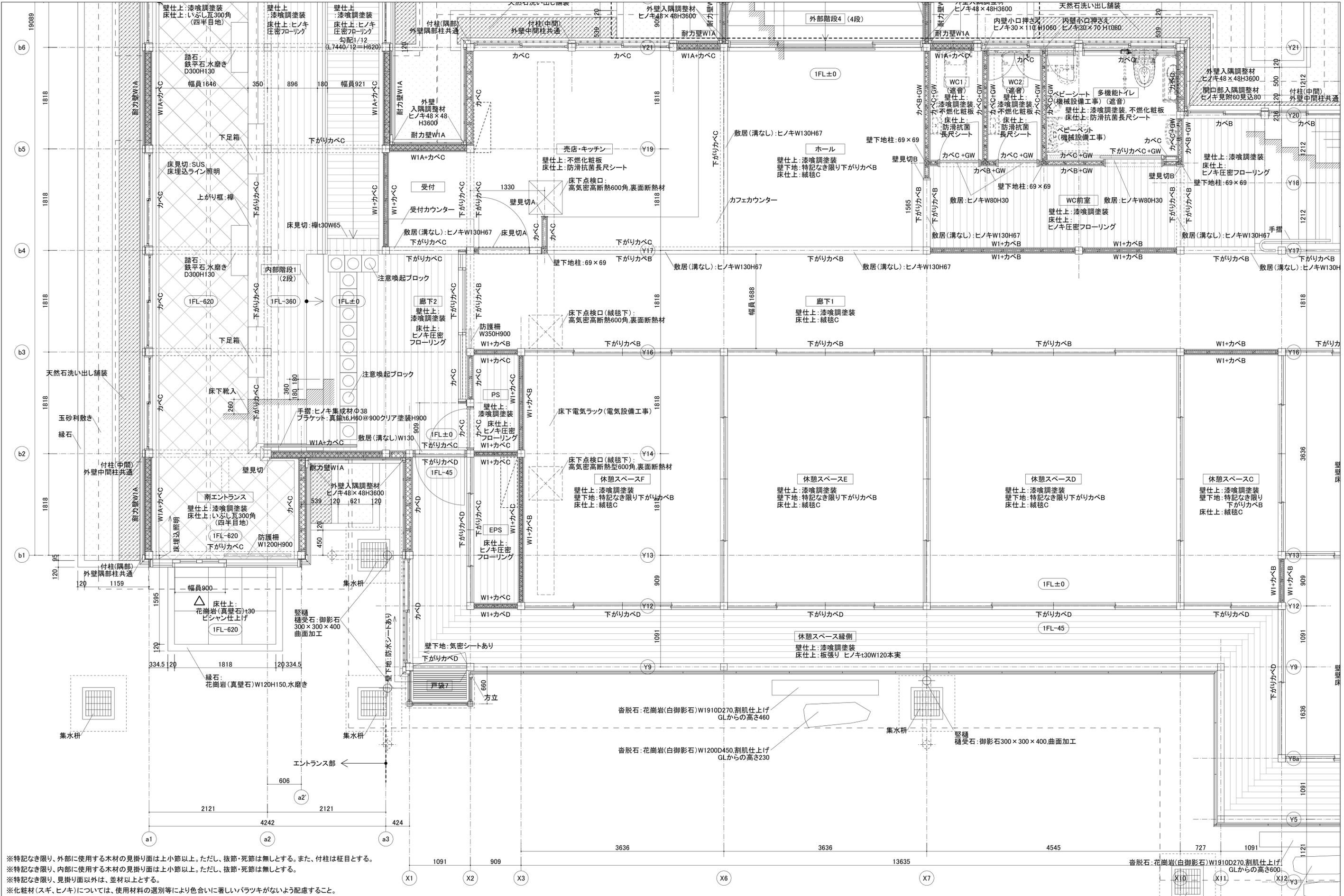
環境省新宿御苑管理事務所  
A-23  
23  
164



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。



<b>平面詳細図共通事項</b> <b>【間柱・胴縁・合板 凡例】</b> 外壁 特記なし(一般壁) 高さ 2m以下 木間柱 45*90@450以下 木胴縁 45*90@610以下 ただし上下横架材との間隔300以下 構造用合板(耐水タイプ)t12		※外壁(耐力壁の外壁も含む)にはグラスウール(K24)t90を充填すること【壁下地凡例】 <b>内壁</b> 特記なし(一般壁) 高さ 2m以下 木間柱 45*45@450以下 木胴縁 45*100@610以下 ただし上下横架材との間隔300以下 構造用合板t12		<b>耐力壁 W1(真壁)</b> 木間柱 構造図参照 木胴縁 構造用合板参照		<b>耐力壁 W1A(真壁+大壁)</b> カベA:ラスボードt7.5(不燃) カベB:GB-Rt12.5(不燃) カベC:GB-St12.5(不燃) カベD:ケイカル板t6+t6(不燃)		+GW:壁内にグラスウールt50(32kg/m <sup>2</sup> )充填 遮音壁 A=砂壁の下地 B=漆喰調塗装の下地 C=漆喰調塗装の下地 D=不燃化粧板の下地		<b>【壁見切】</b> H=FL~CHまで 壁見切A: SUS一方枠 見付30,d130 HLt2.0曲げ加工 壁見切B: ヒノキ一方枠 見付30 浸透性保護塗料		<b>【略語凡例】</b> ● 点状ブロック (SUS鉄) ○ 線状ブロック (SUS鉄)		<b>【柱・梁の仕上げ】</b> あらわしとなる柱・梁の仕上げは、特記なき限り木材保護塗料塗りとする		<b>香山建築研究所</b> KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)	<b>令和7年度新宿御苑日本館御殿工事</b> 平面詳細図(1) <b>環境省新宿御苑管理事務所</b>	<b>A-25</b> A1: S=1/30 A3: S=1/60 <b>25</b> <b>164</b>
--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	--



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・節筋は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・節筋は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

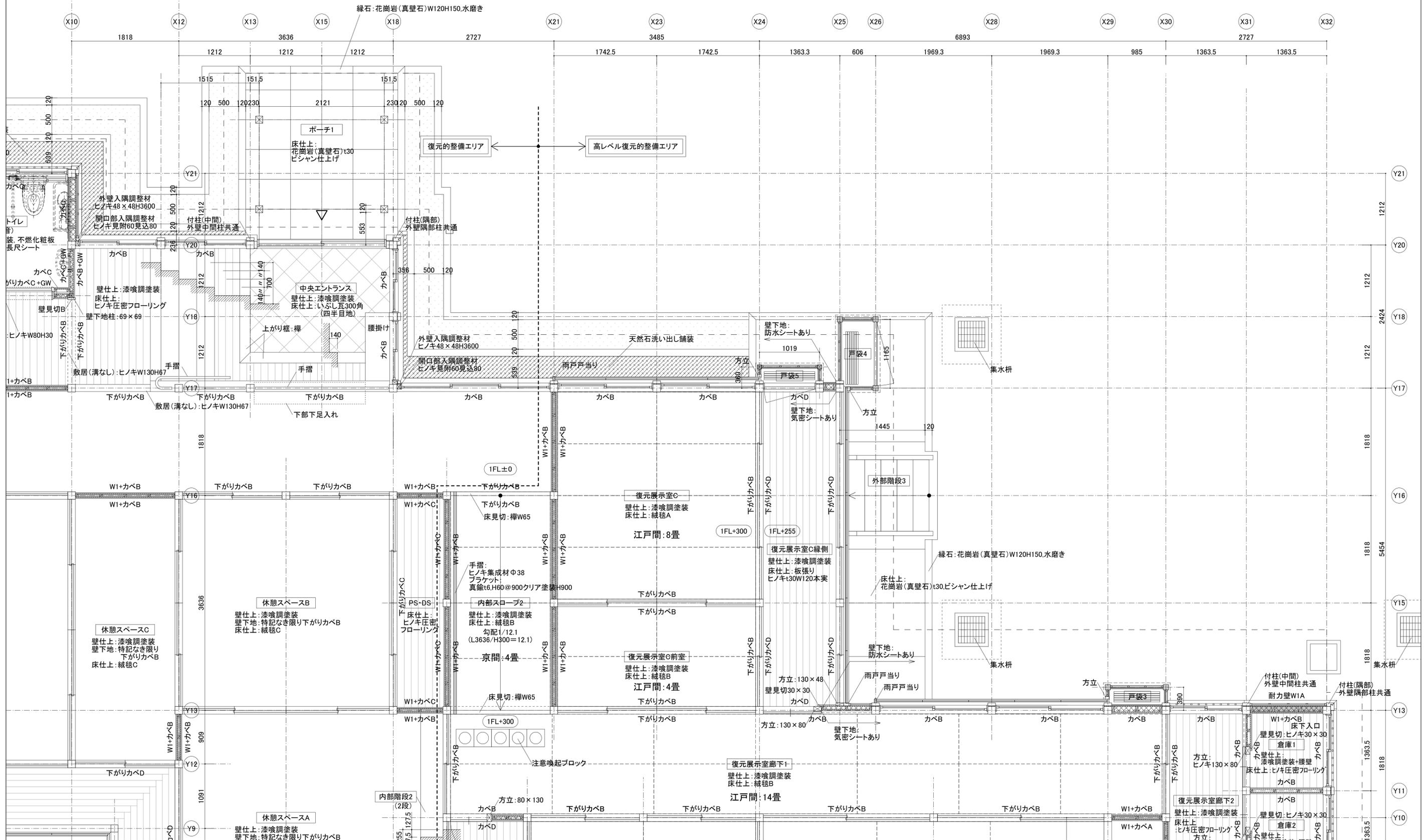
平面詳細図共通事項		【間柱、胴縁、合板 凡例】		※外壁(耐力壁の外壁も含む)にはグラスウール(K24)t90を充填すること【壁下地凡例】		+GW: 壁内にグラスウールt50(32kg/m <sup>2</sup> )充填 遮音壁		【壁見切】 H=FL~CHまで		【略語凡例】		【柱、梁の仕上げ】		
外壁 特記なし(一般壁) 高さ 梁筋まで	内壁 特記なし(一般壁) 高さ 梁筋まで	耐力壁 WI(真壁)	耐力壁 WIA(真壁+大壁)	カベA: ラスポードt7.5 (不燃)	下がりカベA: ラスポードt7.5 (不燃) A=砂壁の下地	壁見切A: SUS-一方枠 見付30,d130	床見切A	点状ブロック (SUS鉄)	あらわしとなる柱梁の仕上げは、特記なき限り木材保護塗料塗りとする	カベB: GB-Rt12.5 (不燃)	下がりカベB: GB-Rt12.5 (不燃) B=漆喰調塗装の下地	壁見切B: ヒノキ一方枠 見付30	床見切B	線状ブロック (SUS鉄)
木間柱45*90@450以下	木間柱45*45@450以下	木間柱	木間柱	カベC: GB-St12.5 (不燃)	下がりカベC: GB-St12.5 (不燃) C=漆喰調塗装の下地	壁見切B: ヒノキ一方枠 見付30	SUS-FB6(見付)×25, HL			木間柱	木間柱	床見切B	集材材見付40, t15, UC	
木胴縁45*90@610以下	木胴縁45*100@610以下	木間柱	木間柱	カベD: ケイカル板t6+t6 (不燃)	下がりカベD: ケイカル板t6+t6 (不燃) D=漆喰調塗装の下地					木間柱	木間柱			
ただし上下横架材との間隔300以下	ただし上下横架材との間隔300以下	構造用合板	構造用合板							構造用合板	構造用合板			
構造用合板(防水タイプ)t12	構造用合板t12													

香山建築研究所  
 KOHYAMA ATELIER  
 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F  
 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)  
 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F  
 専任主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事  
 平面詳細図(2)  
 環境省新宿御苑管理事務所

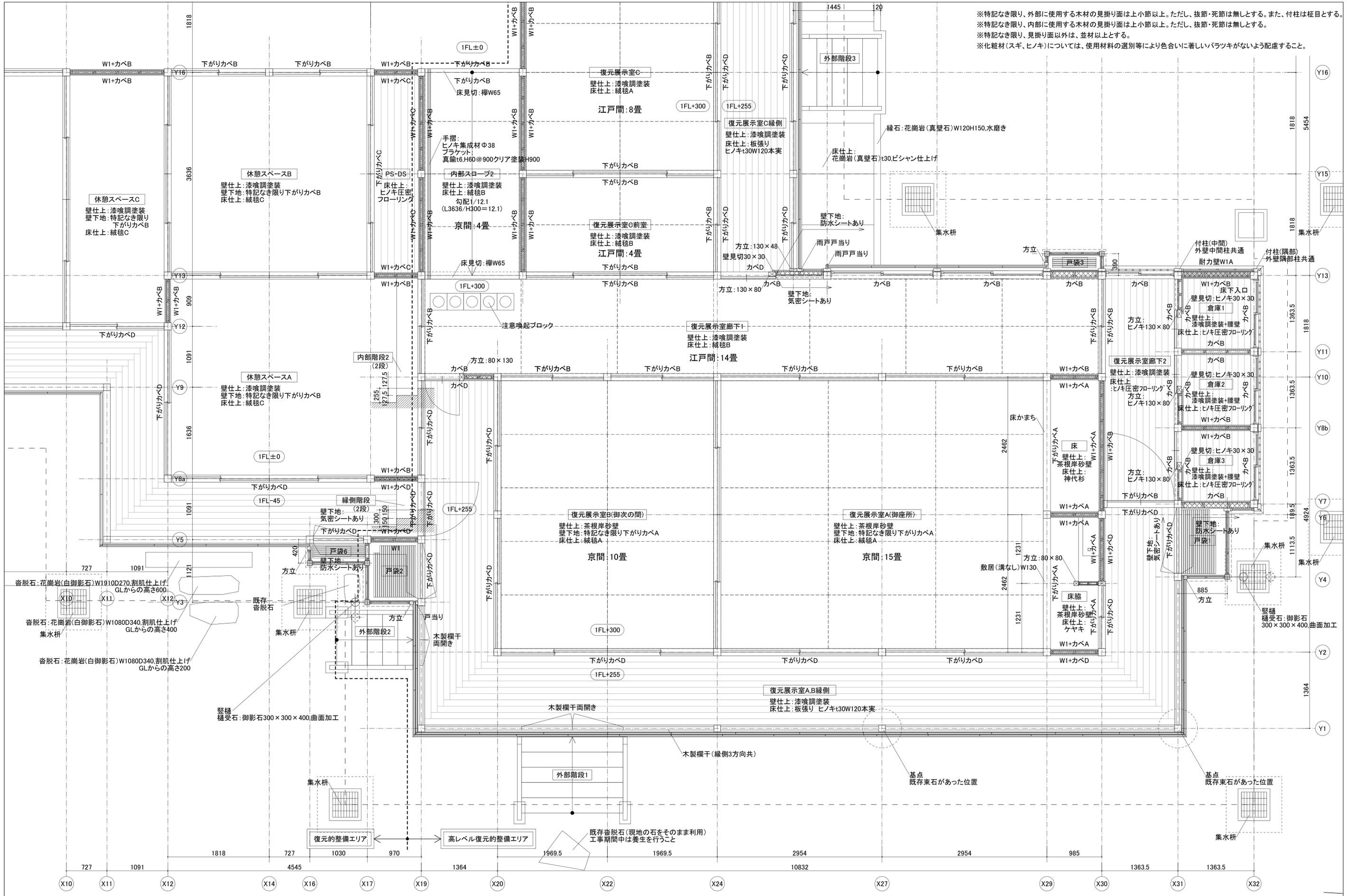
A-26  
 26  
 164

※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛け面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

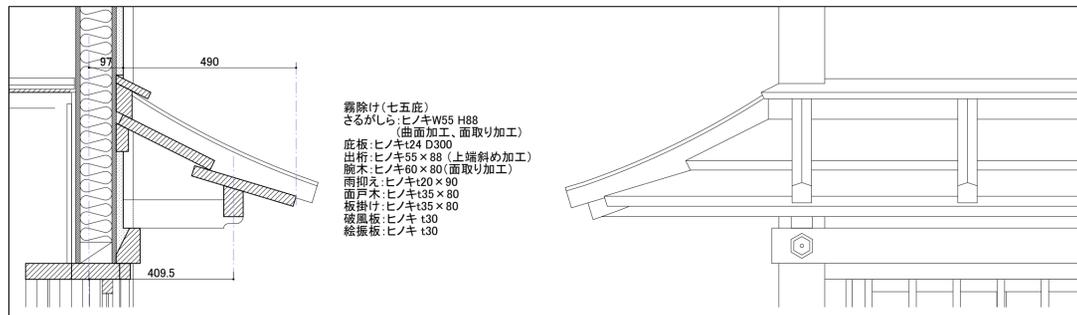


<b>平面詳細図共通事項</b> <b>【間柱・胴縁・合板 凡例】</b> 外壁 特記なし(一般壁) 高さ 築前まで 木間柱 45*90@450以下 木胴縁 45*90@610以下 ただし上下横架材との間隔300以下 構造用合板(耐水タイプ)t12		※外壁(耐力壁の外壁も含む)にはグラスウール(K24)t90を充填すること <b>【壁下地凡例】</b> 内壁 特記なし(一般壁) 高さ 築前まで 木間柱 45*45@450以下 木胴縁 45*100@610以下 ただし上下横架材との間隔300以下 構造用合板t12		<b>【耐力壁】</b> W1(真壁) 構造用合板 <b>【耐力壁】</b> W1A(真壁+大壁) 構造用合板 木間柱 構造用合板 木胴縁 構造用合板		<b>【床】</b> カベA:ラスボードt7.5(不燃) 下がりカベA:ラスボードt7.5(不燃) A=砂壁の下地 カベB:GB-Rt12.5(不燃) 下がりカベB:GB-Rt12.5(不燃) B=漆喰調塗装の下地 カベC:GB-St12.5(不燃) 下がりカベC:GB-St12.5(不燃) C=漆喰調塗装の下地 カベD:ケイカル板t6+t6(不燃) 下がりカベD:ケイカル板t6+t6(不燃) D=漆喰調塗装の下地		<b>【壁見切】</b> H=FL~CHまで 壁見切A: SUS-方枠 見付30,d130 HLt2.0曲げ加工 壁見切B: ヒノキ一方枠 見付30 浸透性保護塗料		<b>【略語凡例】</b> 床見切A (SUS鉄) SUS-FB6(見付)×25、HL 床見切B 集成材見付40、t15、UC		<b>【柱・梁の仕上げ】</b> あらわしとなる柱・梁の仕上げは、特記なき限り木材保護塗料塗りとする ●点状ブロック(SUS鉄) ○線状ブロック(SUS鉄)		<b>香山建築研究所</b> KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 専任主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)		<b>令和7年度新宿御苑日本館御殿工事</b> 平面詳細図(3) <b>環境省新宿御苑管理事務所</b> A1: S=1/30 A3: S=1/60 A-27 27 164	
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--

※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・節筋は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・節筋は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

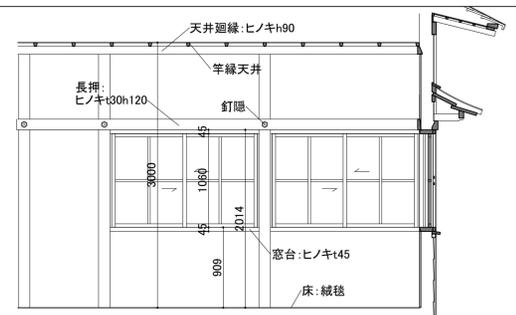


<b>平面詳細図共通事項</b> <b>【間柱・胴縁・合板 凡例】</b> ※外壁(耐力壁の外壁も含む)にはグラスウール(K24)90を充填すること 外壁 特記なし(一般壁) 高さ 梁筋まで 内壁 特記なし(一般壁) 高さ 梁筋まで 木間柱 45*90@450以下 木脚縁 45*90@610以下 木間柱 45*45@450以下 木脚縁 45*100@610以下 ただし上下構架材との間隔300以下 構造用合板(耐水タイプ)t12 構造用合板t12		<b>【壁下地凡例】</b> カベA:ラスボードt7.5(不燃) カベB:GB-Rt12.5(不燃) カベC:GB-St12.5(不燃) カベD:ケイカル板t6+t6(不燃)		+GW:壁内にグラスウールt50(32kg/m <sup>2</sup> )充填 遮音壁 遮音壁 下がりカベA:ラスボードt7.5(不燃) A=砂壁の下地 下がりカベB:GB-Rt12.5(不燃) B=漆喰調塗装の下地 下がりカベC:GB-St12.5(不燃) C=漆喰調塗装の下地 下がりカベD:ケイカル板t6+t6(不燃) D=漆喰調塗装の下地		<b>【壁見切】</b> H=FL~CHまで 壁見切A: SUS一方枠 見付30,d130 HLT2.0曲げ加工 壁見切B: ヒノキ一方枠 見付30 浸透性保護塗料		<b>【略語凡例】</b> 床見切A SUS-FB6(見付)×25, HL 床見切B 集成材見付40, t15, UC		<b>【柱・梁の仕上げ】</b> あらわしとなる柱・梁の仕上げは、特記なき限り木材保護塗料塗りとする		<b>香山建築研究所</b> KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)		<b>令和7年度新宿御苑日本館御殿工事</b> 平面詳細図(4) A1: S=1/30 A3: S=1/60 <b>環境省新宿御苑管理事務所</b> A-28 28 164	
---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--

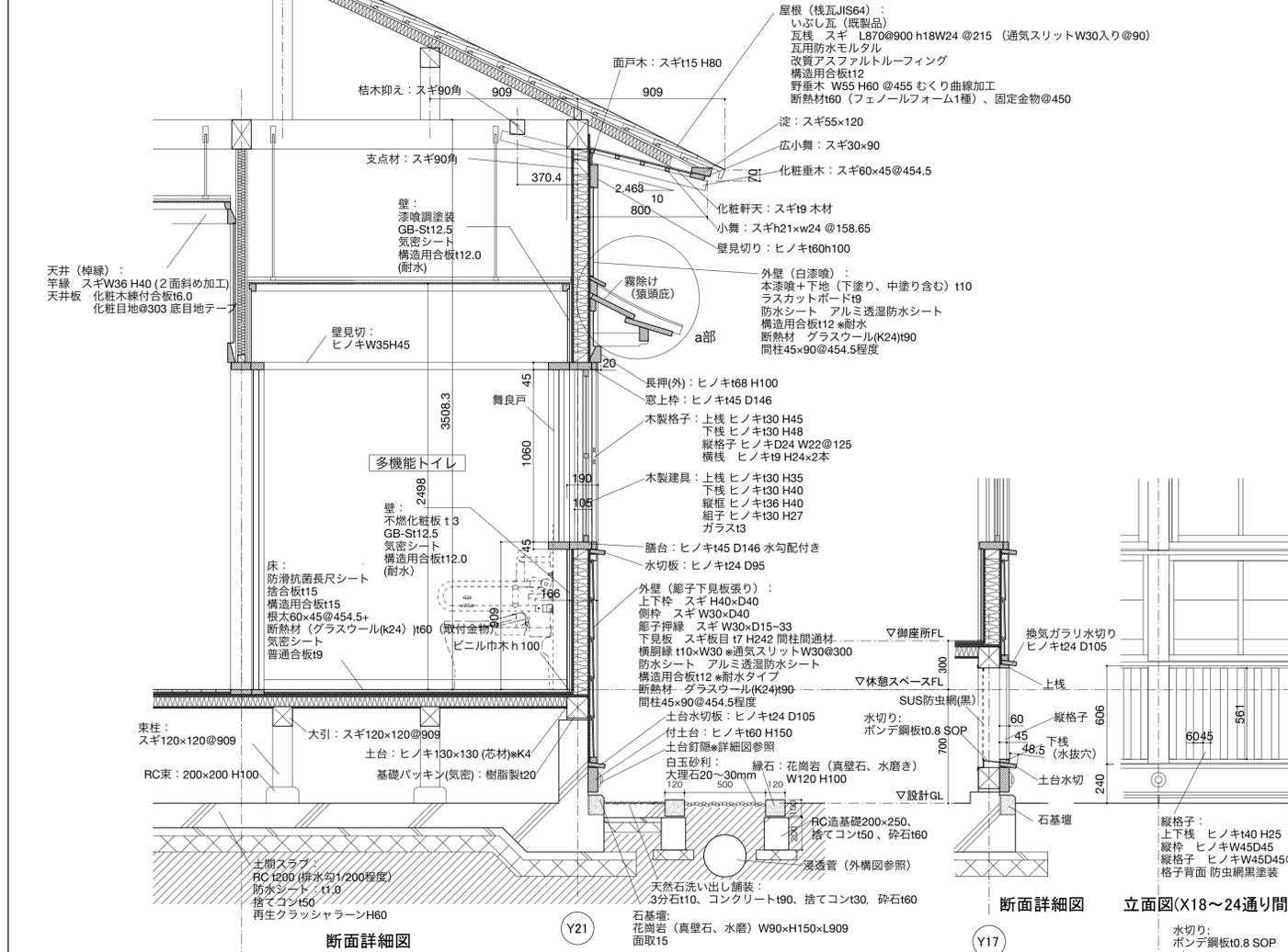


霧除け(七五庇)  
 さるがしら:ヒノキW55 H88  
 (曲面加工、面取り加工)  
 庇板:ヒノキt24 D300  
 出桁:ヒノキ55×88 (上端斜め加工)  
 腕木:ヒノキ60×80(面取り加工)  
 雨押え:ヒノキt20×90  
 面戸木:ヒノキt35×80  
 面掛け:ヒノキt35×80  
 破風板:ヒノキt30  
 絵摺板:ヒノキt30

a部 霧除け(七五庇)詳細図1/10(A1)、1/20(A3)



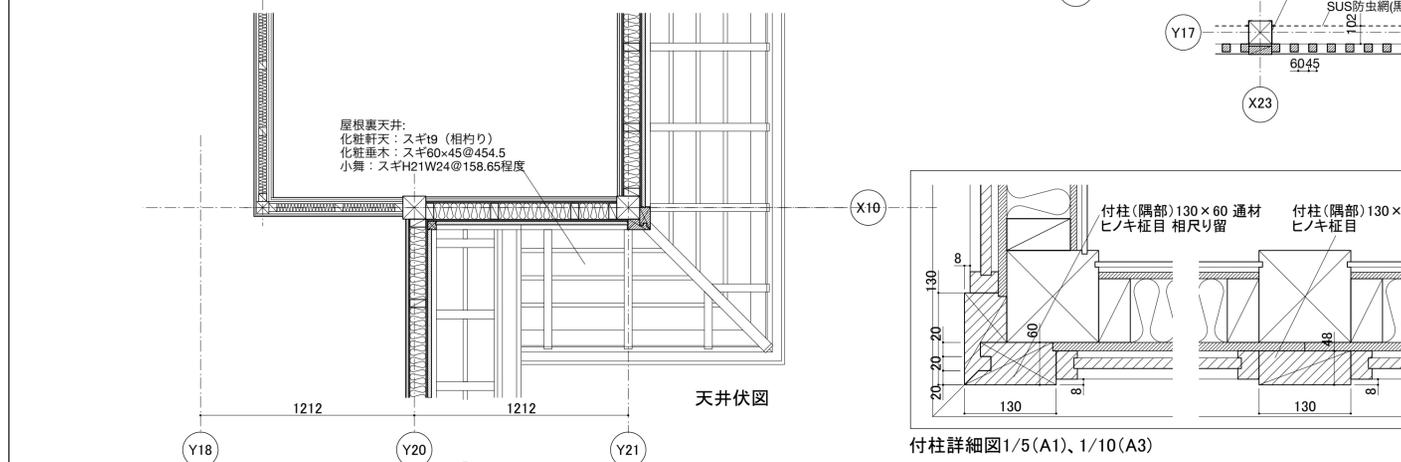
内部開口廻り1/40(A1)、1/80(A3)



断面詳細図

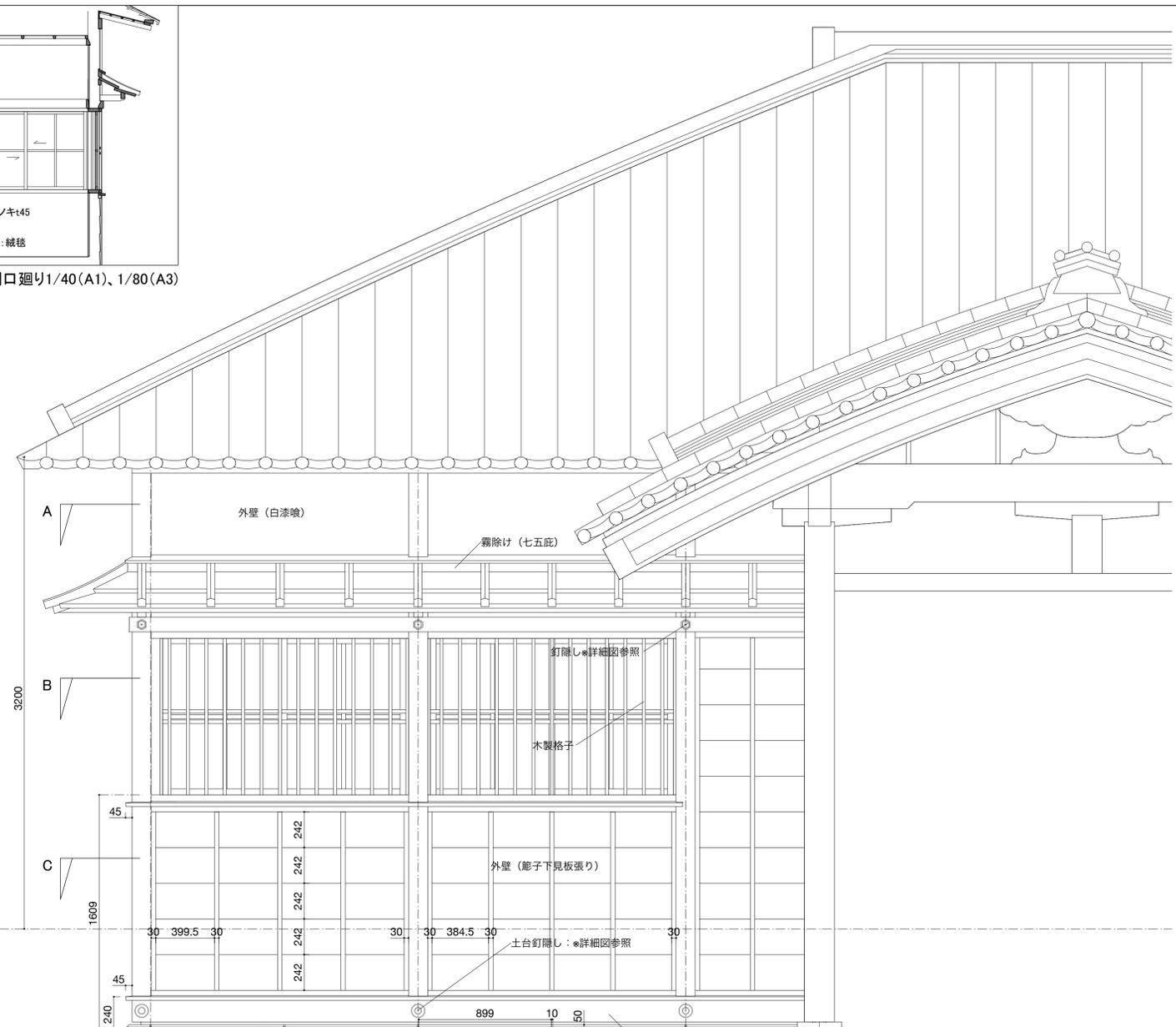
断面詳細図

立面図(X18~24通り間)



天井伏図

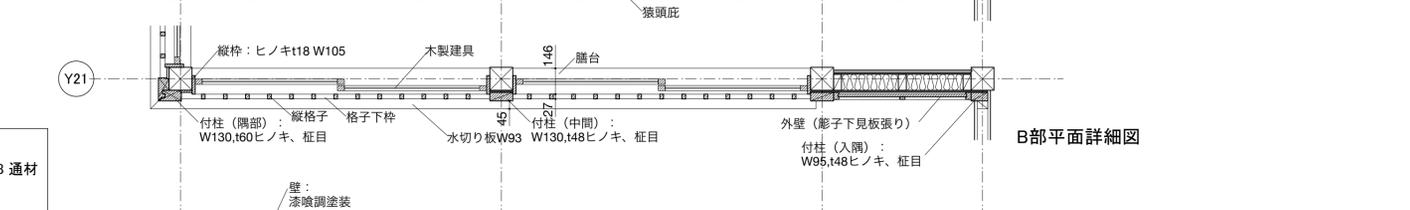
付柱詳細図1/5(A1)、1/10(A3)



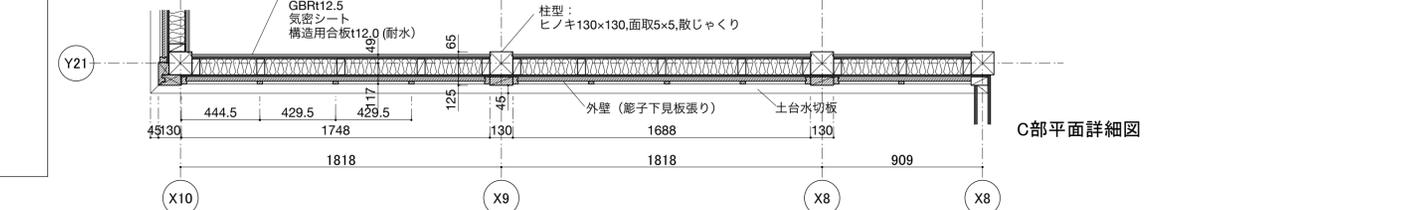
立面図



A部平面詳細図

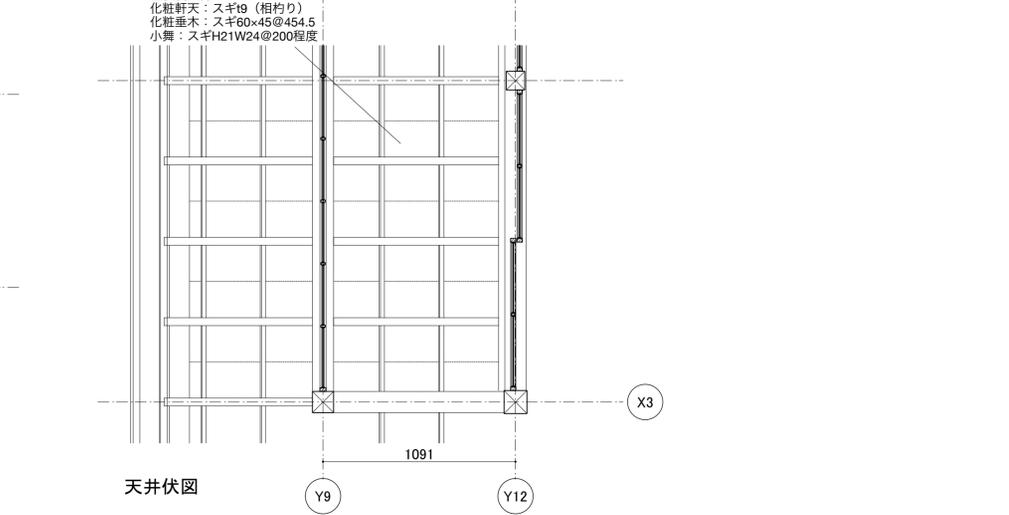
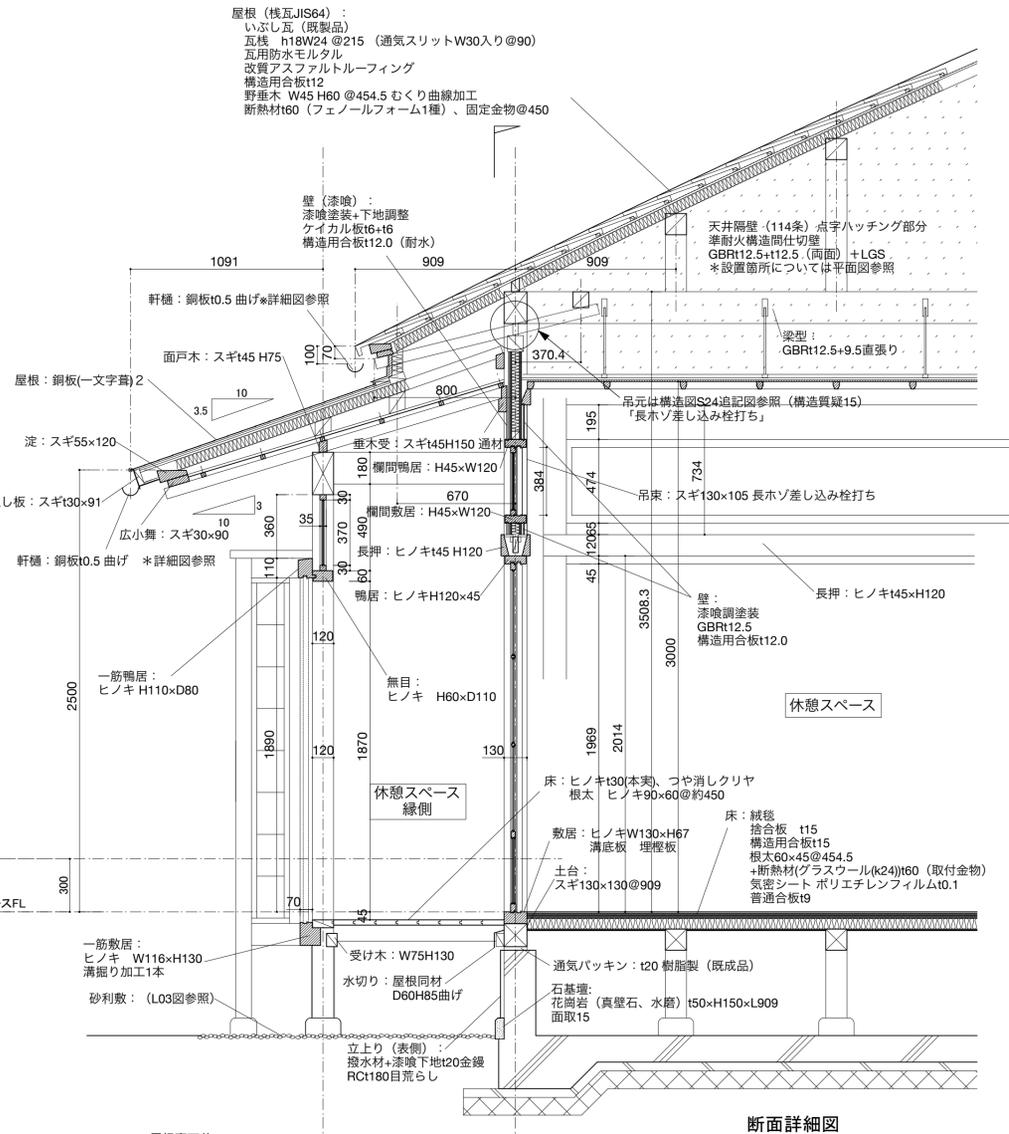
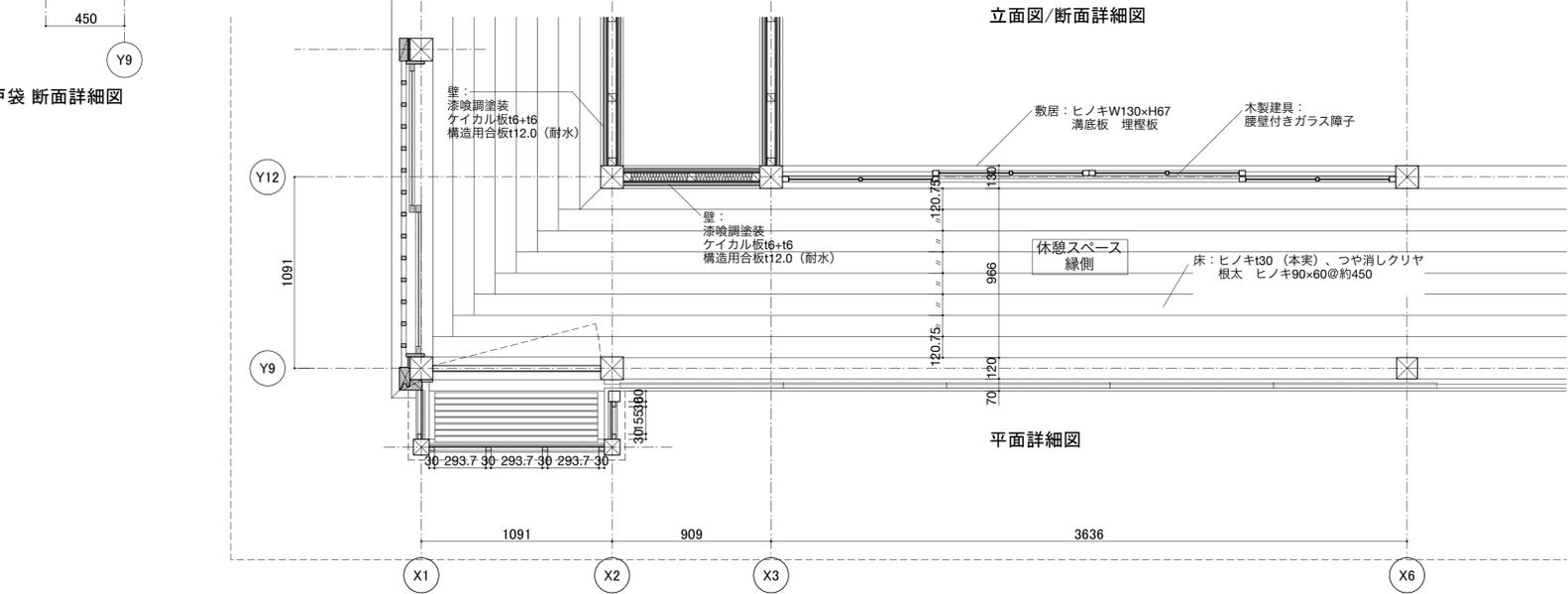
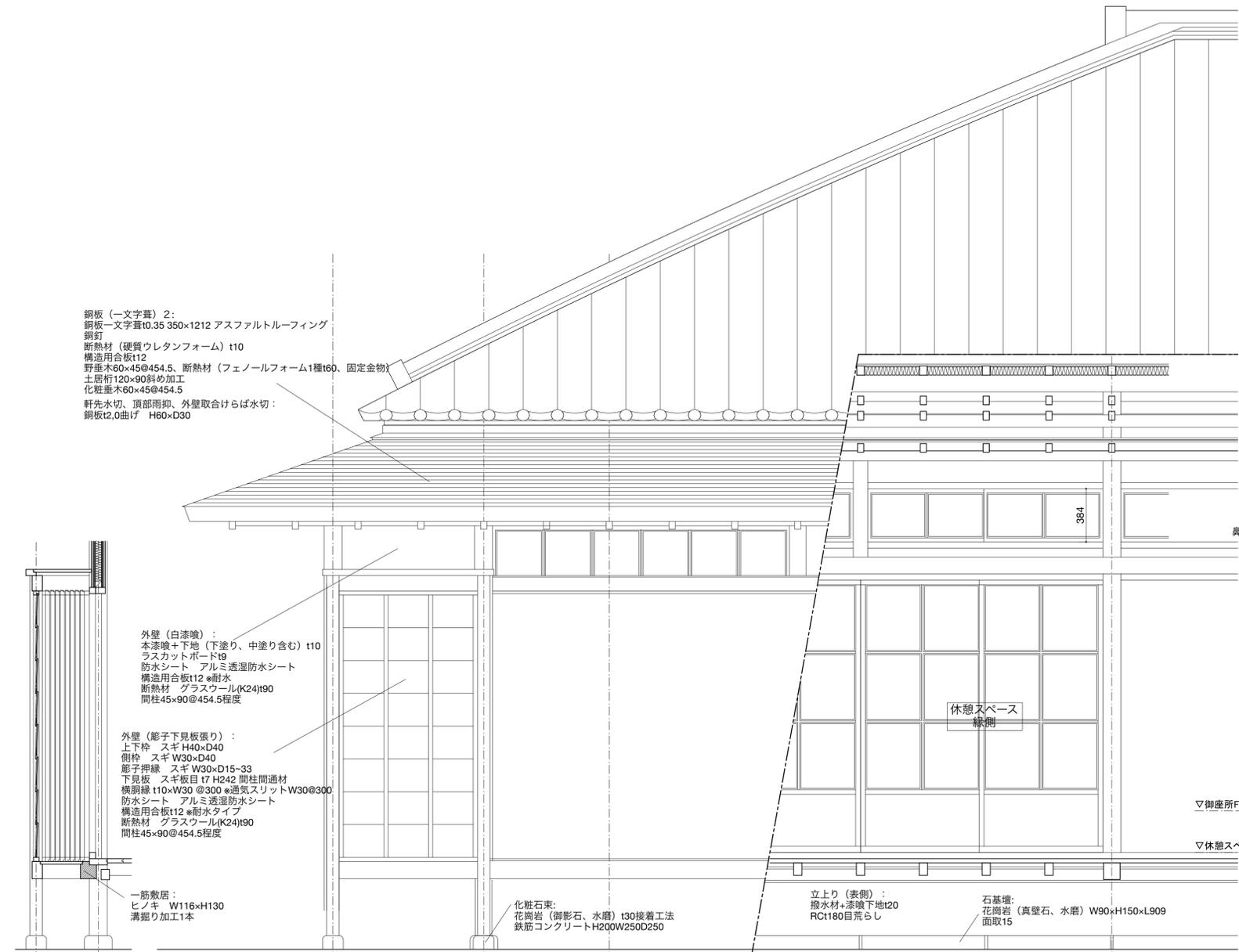


B部平面詳細図

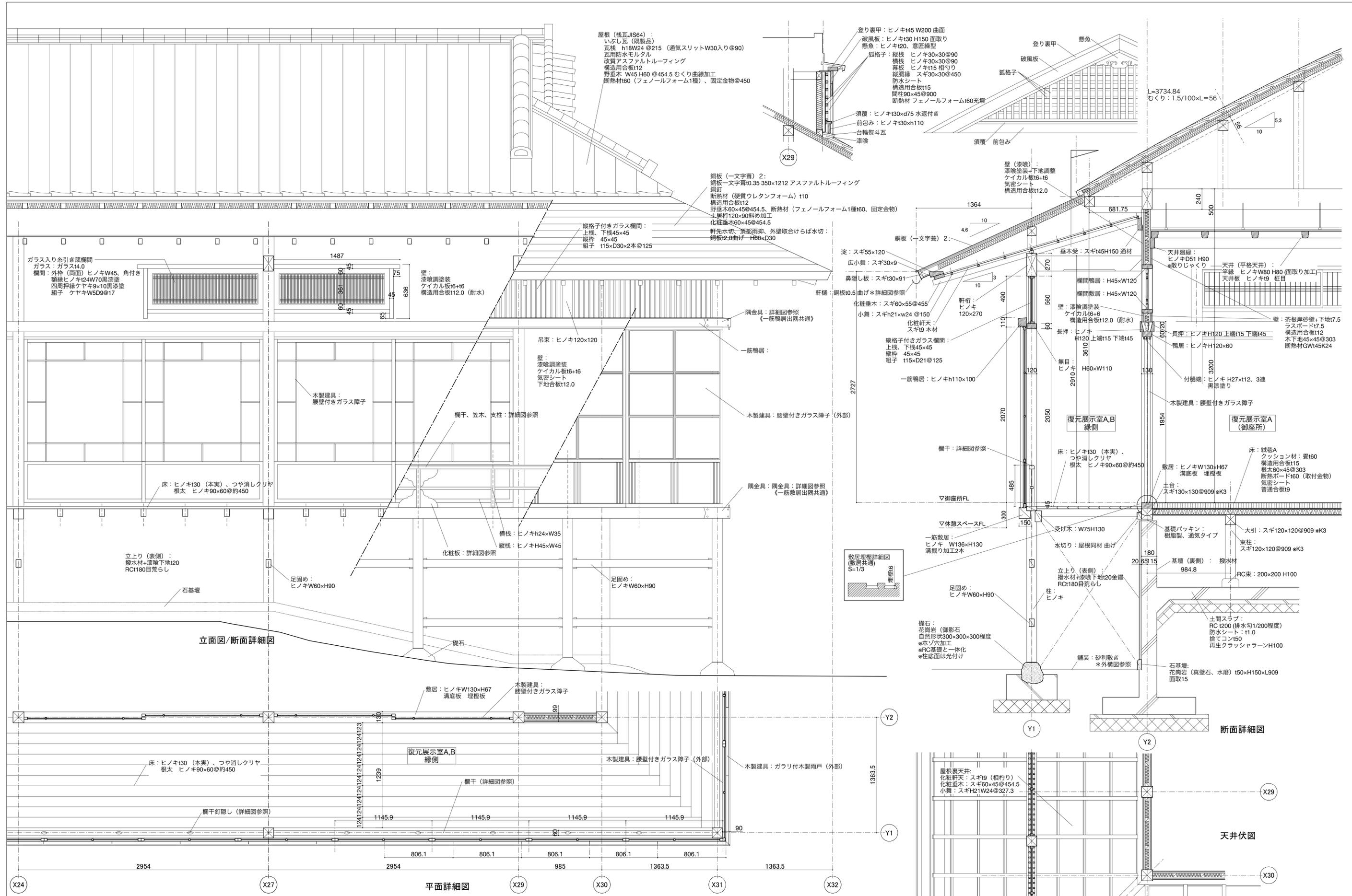


C部平面詳細図

※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。  
 ※気密シート:可変透湿気密シートt0.26, ポリマーコーティング ポリプロピレン デュボン VCLスマート同等

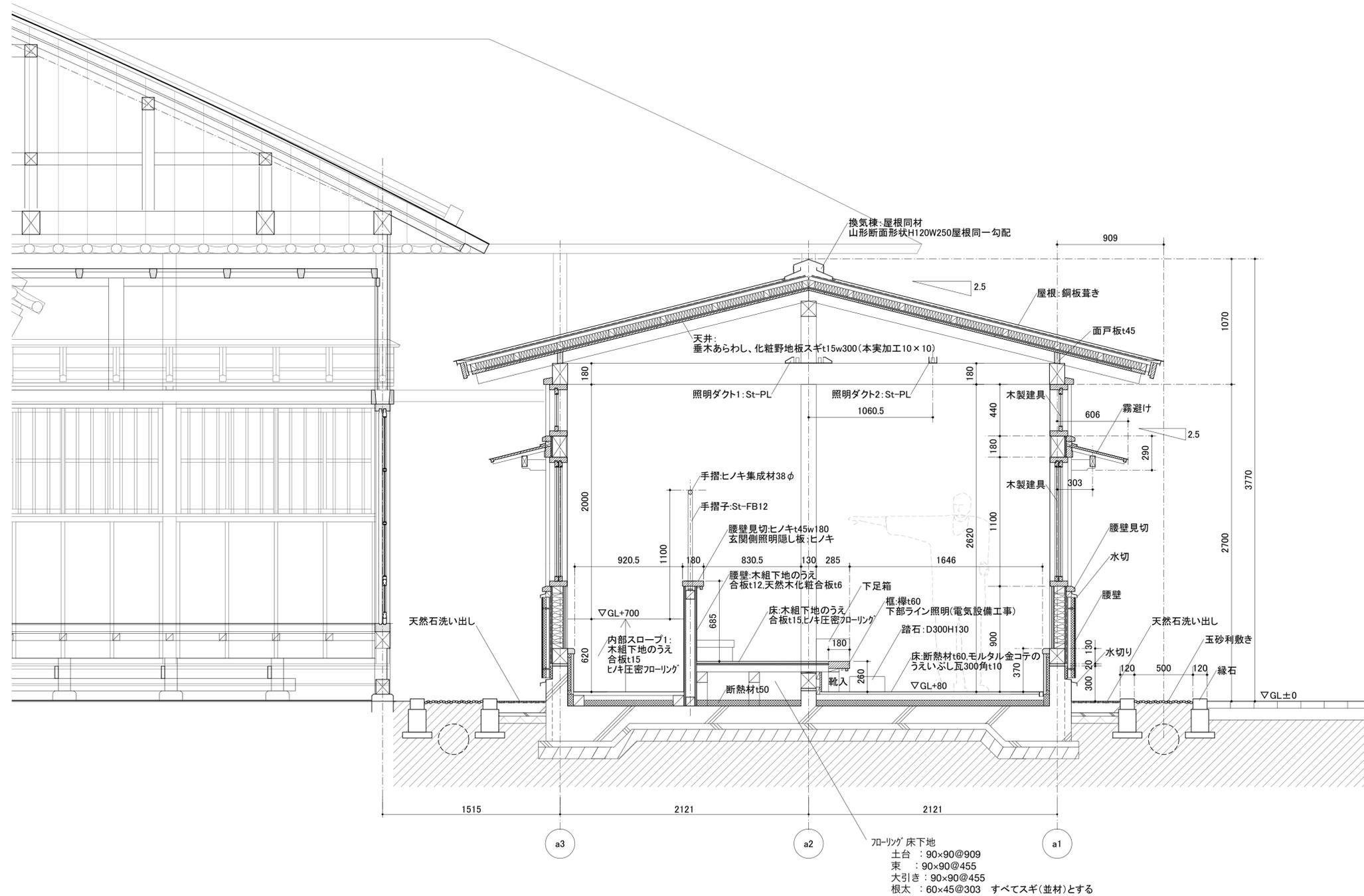


※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。





※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛けは上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛け面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。  
 ※銅板葺き屋根材は、すべて酸化緑青処理材とする。

香山建築研究所  
KOHYAMA ATELIER

一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F  
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)

一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F  
主任技術者 松本洋平(一級建築士第367870号)

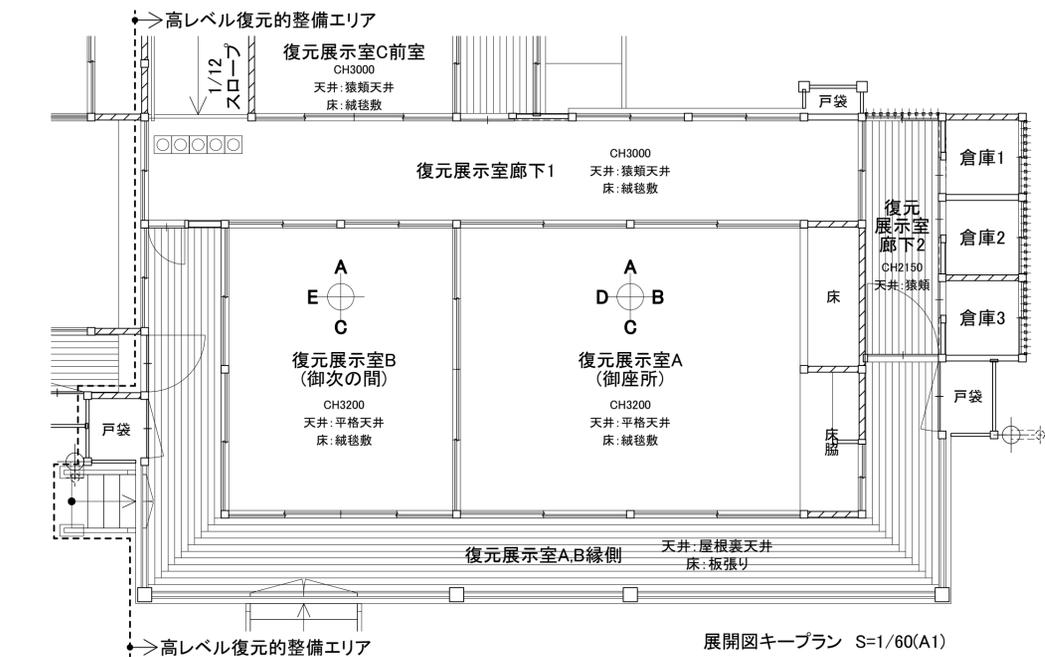
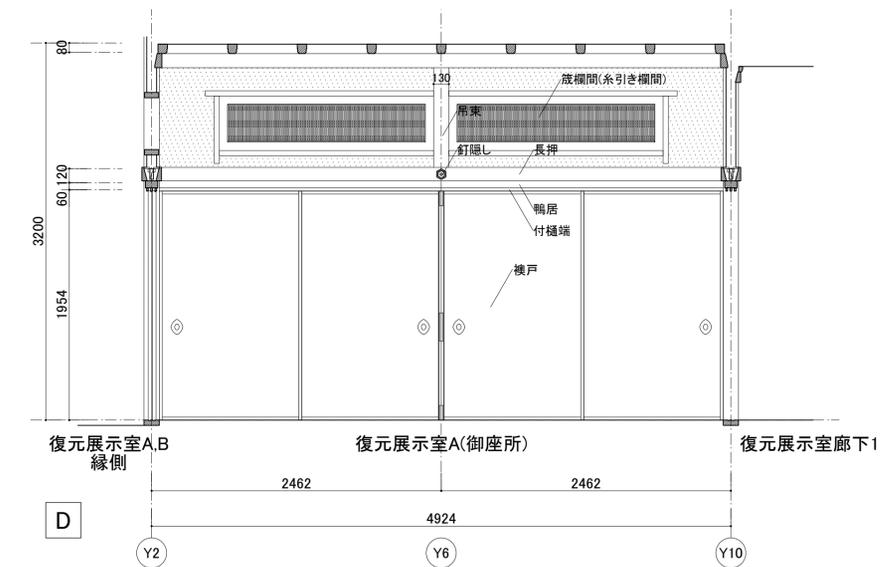
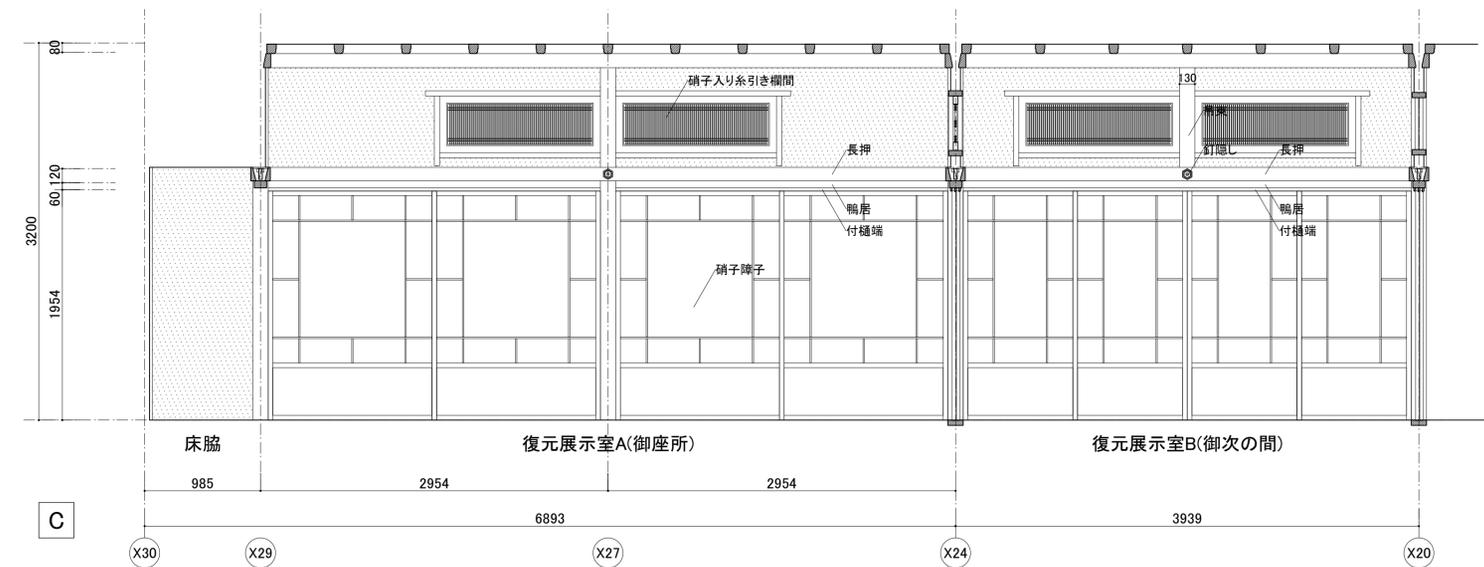
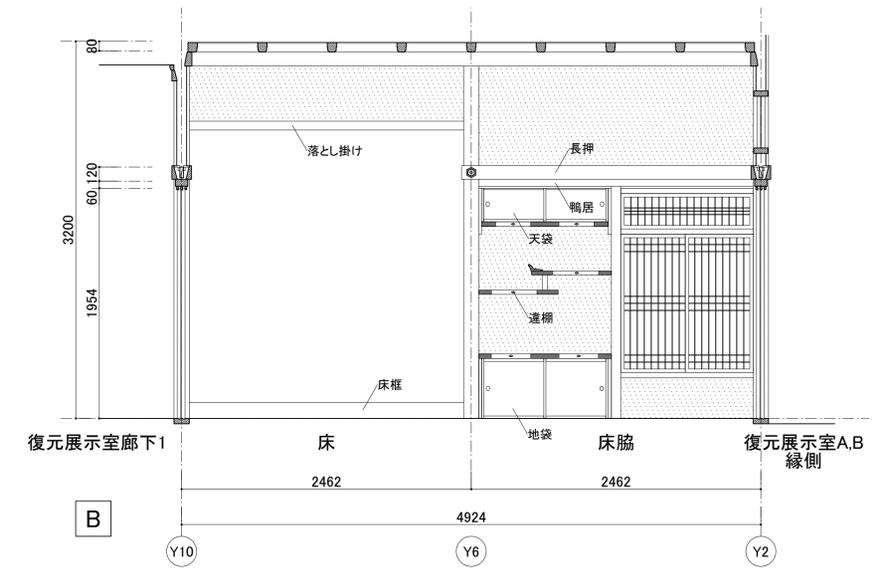
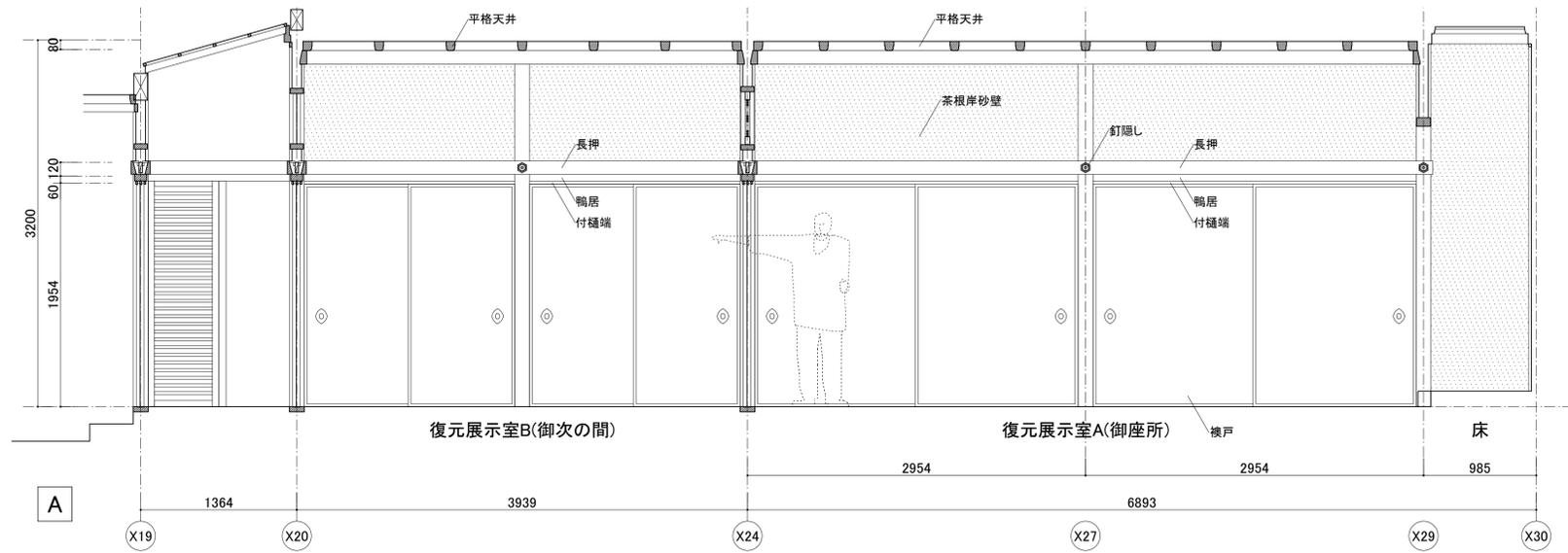
令和7年度新宿御苑日本館御殿工事

断面詳細図 エントランス部

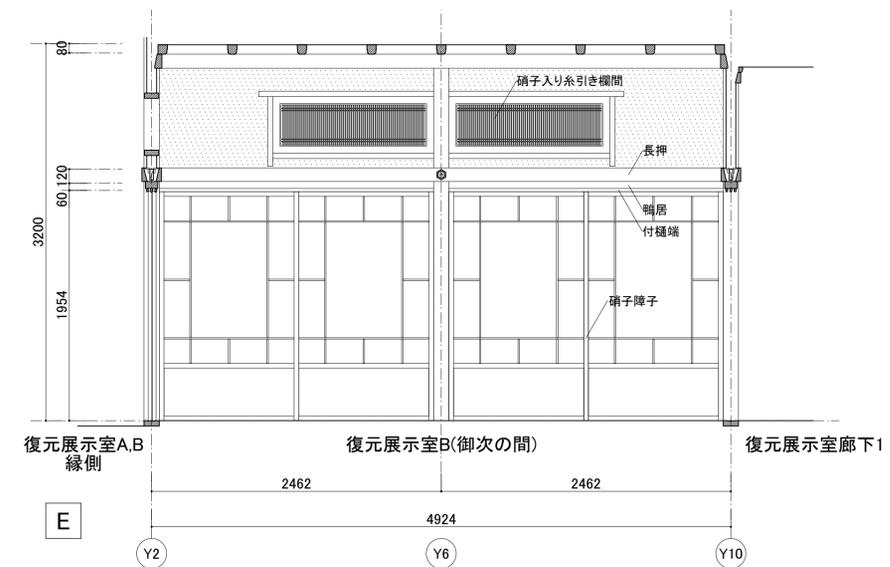
A1 : S=1/20  
A3 : S=1/40

環境省新宿御苑管理事務所

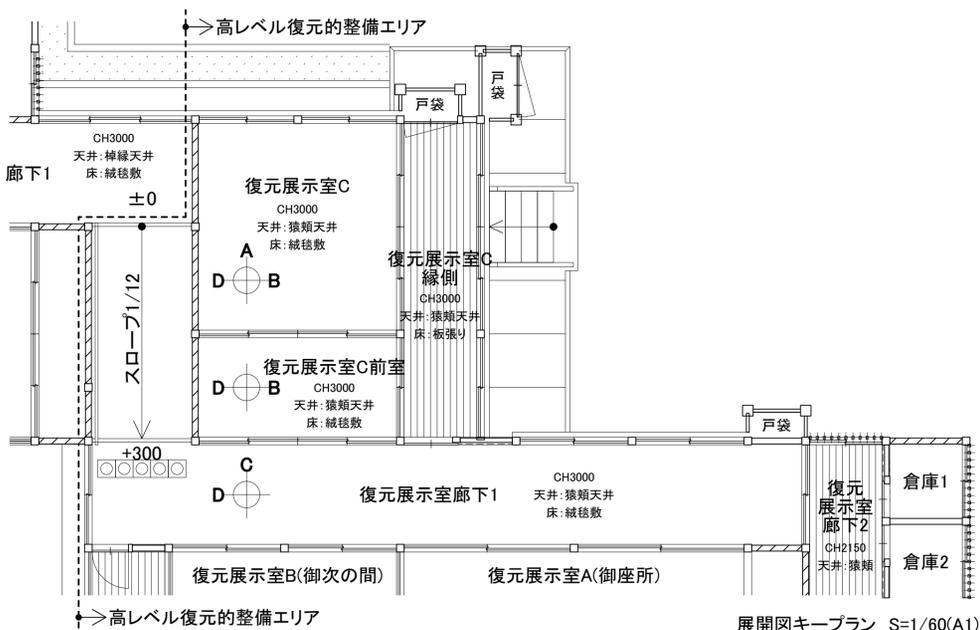
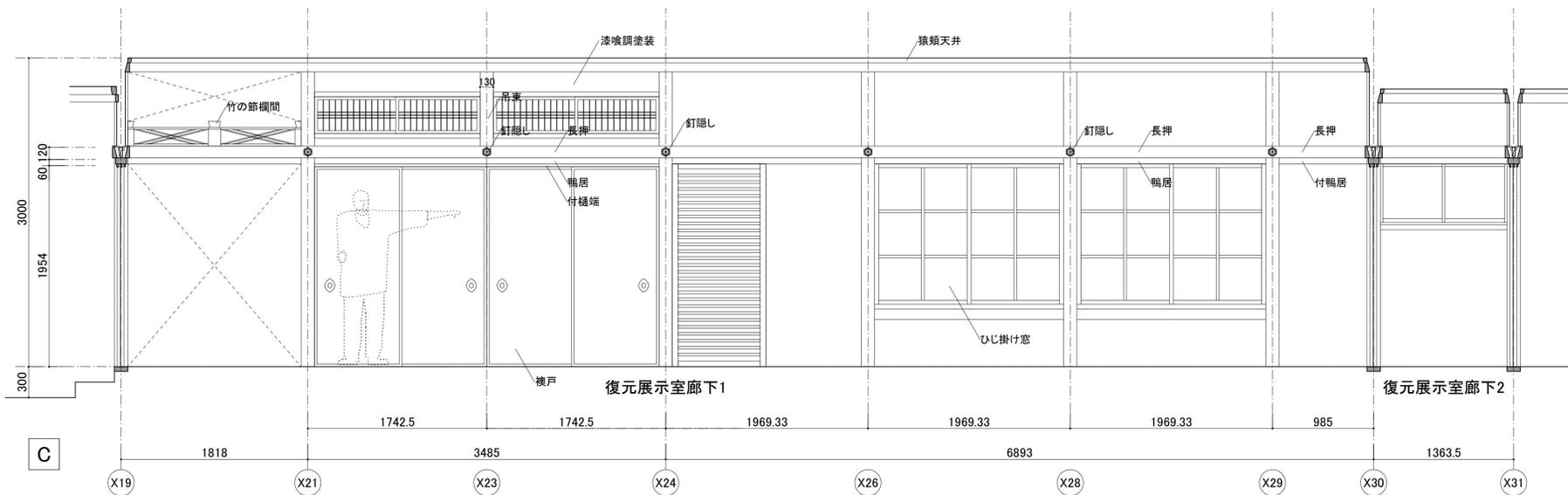
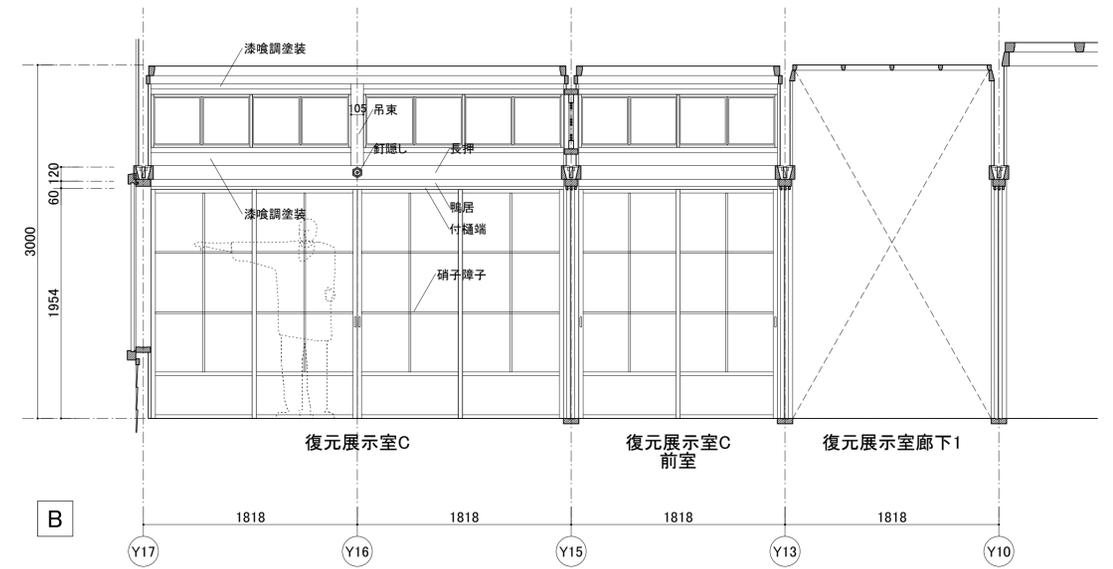
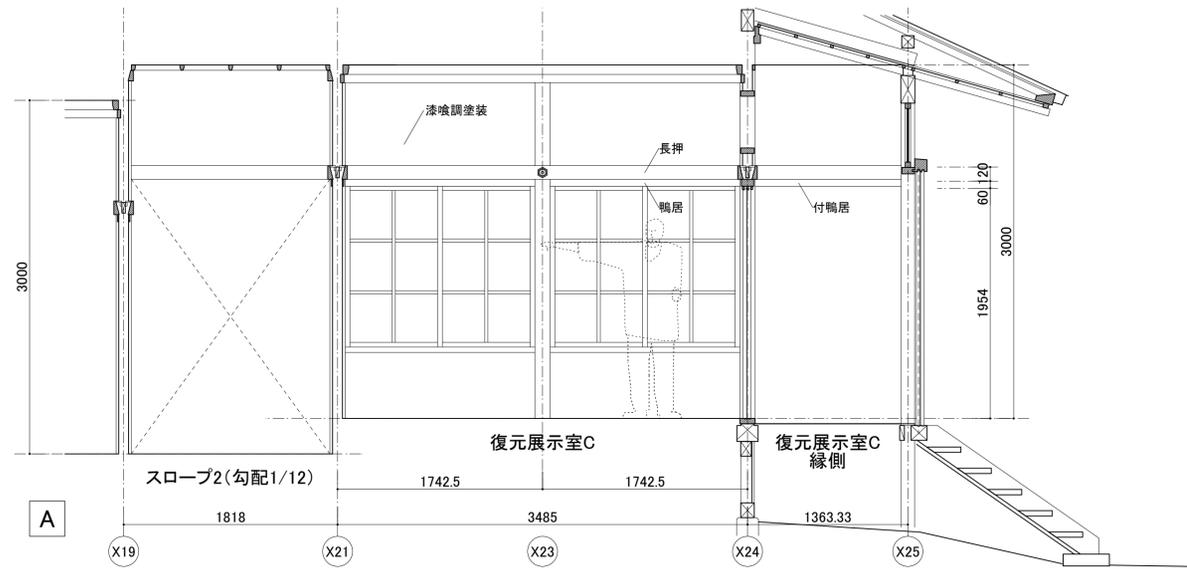
A-33  
33  
164



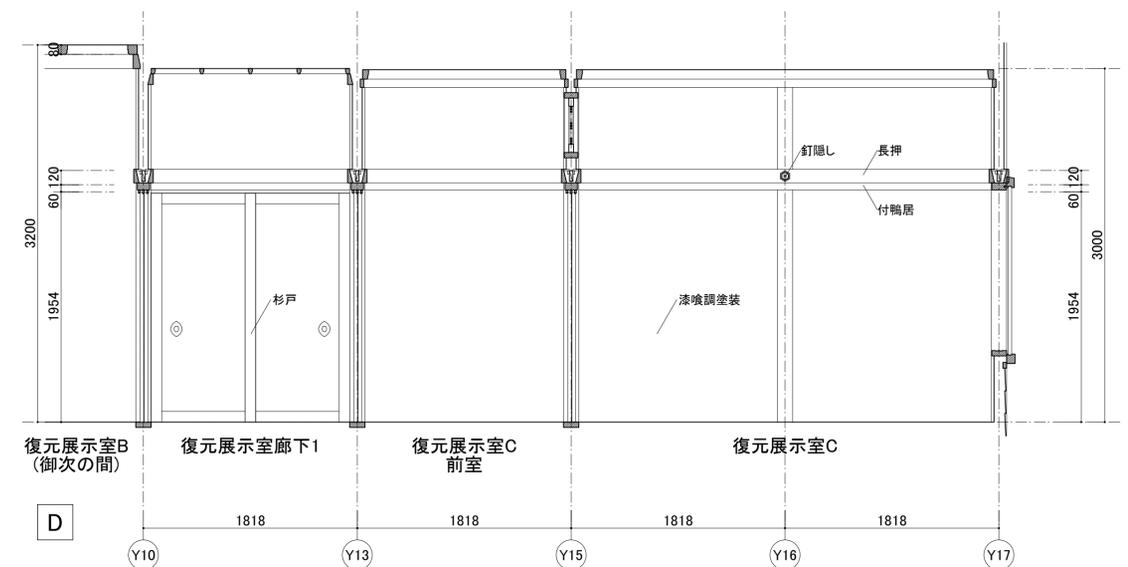
※特記なき限り、以下とする。  
 吊束:ヒノキ見附105、見込130(梁下~鴨居まで)  
 長押:ヒノキH120×15(上端)、45(下端)  
 鴨居:ヒノキH60、D120  
 付鴨居:ヒノキH60、D26



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。



※特記なき限り、以下とする。  
 吊束:ヒノキ見附105、見込130(梁下～鴨居まで)  
 長押:ヒノキH120×15(上端)、45(下端)  
 鴨居:ヒノキH60、D120  
 付鴨居:ヒノキH60、D26



※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柱目とする。  
 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。  
 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。  
 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。

展開図キープラン S=1/60(A1)

